

尚 和 会 報 2007

平成19年4月1日

創立70周年記念特集号

2007

1937

70年の歴史

振り返る70年
34,067人が一つの幹から花を咲かせている

校歌

作詞/水田俊夫
作曲/今枝弘子

一、かがやけるさつき大空
みじりこさいのち生まれぬ
青春の母なる光
匂ふ風ここにたつかし
桜あゝ桜
誰へなんいざこしへの母
誰へなんいざこしへの母

二、水辺の影にうらほひ
清きいづる新き泉に
水底の祈り静けく
水辺清き空み渡る
桜あゝ桜
誰へなんいざこしへの母
誰へなんいざこしへの母

三、若葉もろいそよぎ風に
たましひに聞のひびきの
しみ入りに血潮は澄みぬ
みどりなす感激のうた
桜あゝ桜
誰へなんいざこしへの母
誰へなんいざこしへの母

校歌

作詞/平林治徳
作曲/水野康孝

一、大師様威 四方に輝き
八景一つ字のごと
治しめす我大師世に
匂ふ標の名もかくはしく
生れ出でし花の一本
未廣くおひるらん
見よわれらやまとをみな
あさみどり晴れ渡りたる
大空に天そり立つ
學び舎の窓仰ぎて
心明かに敬虔深く
たゆみなく道踏み行かん
途なる遠き行く手も
見よわれらやまとをみな
掛まくもあやにかしこき
おは皇國明日の榮を
わが肩にとり負ひ持ちて
朝な夕なに奉仕の誓
燃ゆる血を胸に秘めつつ
身を練りて努め進まん
見よわれらやまとをみな



現校舎

CONTENTS	
尚和会会長・校長ごあいさつ	2
歴代校長ご祝辞	2
歴代尚和会会長ご祝辞	3
恩師の近況	4
学校だより	8
母校行事・母校クラブだより	9
桜塚高校の歴史	13
尚和会通信・各期連絡先	16
役員紹介	17
尚和会決算・予算報告	17
同期会報告	18
同期会予告	20
お便りから	21
平成18年度総会・懇親会	25
尚和会会報表紙この十年	27
物故者芳名・尚和会ホームページ紹介	27
編集後記	27
平成18年度会報代・協力金	28
創立70周年尚和会記念総会のご案内	30

発行——尚和会

発行責任者 田中 渡

編集責任者 大畠 光昭

旧大阪府立豊中高等女学校・大阪府立桜塚高等学校

〒561-0881

豊中市桜塚4-1-1

☎06(6853)2244

FAX 06(6853)0825

尚和会ホームページアドレス <http://shs-showakai.com>

ご挨拶



尚和会会長
田中 渡

昭和十二年に大阪府立第十四高等女学校として生野に創立、翌年に大阪府立豊中高等女学校と改称、現桜塚の地に地元の大きな期待のもとその礎を築きました。戦中戦後の動乱期をのりこえ昭和二十三年学制改革に伴い大阪府立桜塚高等学校と改称、以後男女共学となりさらに定時制課程も設置され現在に至っています。この間七十星霜に概ね三万五千人の同窓生が誕生しています。

尚和会は昭和二十八年に高女一期の矢野鈴子さんを初代会長に迎え、足、現在に至るまで多くの先輩諸氏を含む皆様方のご熱意とご尽力によって運営されてきたことに敬意と感謝を申し上げます。

創立五十周年記念総会にはペギー葉山さんを、六十周年記念総会には宮川泰さんをヒルトンホテルに招いて盛大に催されましたことはまだ記憶に新たなところがございます。

今回七十周年記念総会には高校五期の前田憲男さんと高校四十期の幸田さと子さんをゲストとして迎え、コンサートを開催することになりました。司会に高校二十九期の笑福亭仁勇さんをお迎え、同窓生による同窓生のための一味違う記念総会になることを期待し、皆様とともに母校の創立七十年をお祝いいたしたく存じます。

今後の尚和会のあり方を考えます

と活動の活性化が重要な課題になると思われます。温故知新の如く七十年の古き良き精神を継承しながら新しい取り組みが大事かと思えます。IT時代を迎えホームページ等の取り組みによって同窓生諸氏の情報交換をもちながら世代間交流を深め尚和会のためな発展を祈念いたします。最後になりましたが平素の尚和会活動にご協力賜りましたことにお礼を申し上げますとともに、今後ともよりいっそうのご支援とご鞭撻をお願いしましてご挨拶と致します。

創立七十年の節目も 着実な前進で！



桜塚高校校長
西郷 正人

今年の春は、正門の「枝垂れ桜」も多くの皆様方の想いを受けとめて、凛とした気品の中で一段とその美しさを見せてくれています。

今、桜塚高校は、卒業生である皆様方やその時々集われた先輩諸氏が脈々と培われ、今も桜塚が誇りとする「勉学・部活動等の両立探究の粘りの中、自律と自主・自立性を育む！」という教育実践と共に、学外に目を向ける取組みを重ねる中で世界を拡げ、将来にわたつての自分を考え、自分の夢実現のための「人間力」醸成を目指し、七十年目を元氣いっばいに歩んでおります。

桜塚高校の取組みのいずれの場におきましても、尚和会の皆様方には常に温かく見守って頂き、また熱い熱いご支援を頂戴しておりますことに、後輩

たちは勿論のこと、我々教職員にとりましても大きな大きな力付けとなつております。誠にありがとうございます。今年平成十九年度は桜塚高校にとりまして大きな節目を持つ一年となります。

一つは、今年は本校が創立七十年を迎え、その記念式典を平成十九年十一月十八日(日)に、豊中市民会館にて行います。尚和会会長田中様を実行委員長として「桜塚高校創立七十年記念事業実行委員会」が準備を進めております。式典の基本コンセプトの一つに、「卒業生と在校生を繋ぐ」がございます。五月に尚和会様がヒルトンホテルにて開催される「桜塚高校創立七十年記念総会」では、確かな準備報告が出来ますようにと思っています。

もう一つ、本年度から、大阪の全日制普通科の通学区域が昭和四十八年以来の九学区編成から、四学区編成へと大規模化し、桜塚の新生でいいますと旧第一学区と旧第二学区(吹田市・大阪市東淀川区・茨木市・他...)から受験し入学もしています。

学校を取り巻く環境は社会が持つ課題に少なからず影響を受けます。大阪府においてもこの十年余り、高等学校の特色化と再編整備が教育課題としてあり、また現在の社会動向として「教育再生会議」での議論もあります。学校を取り巻く情報は正しく受けとめながらも、今桜塚の門をたく生徒たちには「勉学・部活動等の両立探究の粘り」と「人間力の醸成」を桜塚らしく着実に深めさせ、それらを将来の「社会的な自律(自律・共生・貢献)」に繋いでいく「力」の育成に努めたいと思います。

地域に愛され、支えられている桜塚高校を今後とも、より進化し発展を続ける桜塚とすべく生徒たちはもとより私も教職員も元気に励みたいと思います。今後ともいっそうのご指導ご支援をお願い申し上げます。

再配置三年目を迎える

定時制課程 教頭 杉本 英世

尚和会の皆様には、日頃から定時制課程にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。また陸上部・バドミントン部の全国大会出場の折には多大なご支援をいただき、おかげさまで生徒たちは日頃の成果を存分に発揮することができました。まずは冒頭にて御礼申し上げます。

さて、大阪府の定時制高校が三十校から十五校へと再編整備される中、本校が北摂地区で閉課程校となることなく、地元にて再配置されてから三年目を迎えることとなりました。近隣の普通科高校で二年前から募集停止していた北野高校、吹田高校も来年卒業生を出し、その歴史に幕を閉じることとなっております(天王寺・四条畷・鳳・八尾・和泉・貝塚も閉課程の予定)。

本校では、特色作りの一環として、三つの類型選択授業が始まって一年が経ちました。生徒たちが、それぞれの思いを期待を持って学び始めたこの授業ですが、好きなもの同士が、少人数でお互いに切磋琢磨しながら、勉学に励んでいる様子は、年配の生徒さんはもちろんのこと、以前にも増してやる気と活気が漲っています。

三年次になると自分の好きな、また学びやすい科目を選ぶことのできる

自由選択科目が半数を超え、四年次になると体育以外はすべてが選択科目という教育課程になります。したがって、個々がしっかりとした目的意識を持ち、自主性と自己管理能力がいつそう必要となります。そういった生徒を育てるべく、われわれ教職員は一人丸となって努力する所存です。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

歴代校長ご祝辞

創立七十年を迎えて

第十一代校長 山本 俊雄
(昭和52年4月～54年12月)

創立七十周年誠におめでとうございます。七十年前、豊能地区に待望久しかった府立高等女学校が桜塚の地に誕生し、地区の優秀な子女が入学出来るようになったのは、地区にとつて何という喜びであったことでしょう。私が桜塚高校の同窓会総会で初めて一期卒業の方々にお会いした時、そのお人柄の素晴らしさに感動致しました。桜塚高校に赴任して、この学校がいつべんに好きになりました。定年まで七年を残していましたが、この間にこの学校のために献身努力したいと思いました。

周りの人々と話し合い、色々の施策を考えました。ところが三年目の七月初めに府教育長より呼出しがあり、来年開校予定の新設高校のまとめ役として高槻市に出来る新設高校の校長を引き受けてもらいたいとの相談でした。私は桜塚高校への愛着を話し、同窓会PTAの役員へもその旨約束をし

ているのでお断りをしたいとねばりましたが、教育長自らがその方々へは説得するからと許してもらえませんでした。七月半ばから十二月まで桜塚高校と高槻の新設高校との兼務となり、一月からは芥川高校の専任校長に任命されたのです。今でも桜塚関係者には申し訳ないと思っております。

もう一つの思い出は定時制のことです。昼と夜の生徒が同じ校舎校庭を使うのですから多少のトラブルがありました。それを乗り越えて生徒と教職員が協力して良い教育成果を上げていたと信じております。先生方は皆教育熱心でした。生徒の中には六十五歳近い方もおられましたがよく勉強されていました。英語のノートを見せてもらいましたが必要なことが良く整理して書かれており、感心しました。その方は趣味の世界でも「連珠」の日本チャンピオンで、私の方が教えられることが多かった位です。桜塚在任は二年半に過ぎませんでしたが、皆様の御協力を得て校舎改築の完成と定時制教育の充実を遂行出来ました。

最後に、同窓会（尚和会）の方々の温かいご協力に触れざるを得ません。今でも毎年桜樹会名で京都の名所などを御案内いただくのですが、その御厚情に感謝しております。

末筆ながら大阪府立桜塚高等学校と尚和会の益々の御発展をお祈り申し上げます。

創立七十周年のお祝い

第十二代校長 石橋勲一郎
(昭和55年1月～59年3月)

府立桜塚高校創立七十周年誠に

目出たくお祝い申し上げます。

桜塚では命にかかわる大きな出来事が三回ありました。一つは昭和二十年六月高女四〇八期が、学徒動員中爆撃に遭い七名が尊い命を落としました。玄関正面に立つ少女像「ほむら野」、それは鎮魂の碑であると共に、非戦の誓いを後輩に語り継ぐものです。二つは二十八年高六期が修学旅行中、阿蘇山頂で突然の大噴火に遭い男子生徒が亡くなりました。戦争、不慮の災難と悲しい出来事でした。

私が赴任したのが五十五年一月でしたがその年度中に現職の先生三名が亡くなり、これは稀有のことで教頭、事務長と私が何かの祟りかとヒソヒソ話、校舎建替えて池を埋めた事を知り、主催を尚和会にお願いしお祓いをしました。これが三つ目でその後異変はありません。

箕面高校の野武士のような集団から来た私は、最初の会議で桜塚高校の先生方は公達で品格がありこれが伝統かと強く感じました。校史は高三で国語の山本先生に教えて頂き、教務部長に依頼し全クラス自習監督でまわりました。

卒業諸兄姉は各界各分野で活躍されていますが生徒に話をしたのは、桜塚の沿革と作家では高女一期の鴨居羊子さん、高校六期の富岡多恵子さん、芸能界では高五期の前田憲男さん、十九期の桂春之助さん、部活では同じ期の奥田敏輝さん、夏の予選で江夏投手に投げ勝ちそれまですべて零点に抑えながら決勝で北陽に負けた話、後日譚など話している私の方が熱がはいりました。

高女一期は私より一つ下で親近感があり尚和会歴代会長、矢野さん、塚

田さん、越水さんお三方とも才媛で創立当初のお話をよく伺いました。私の在任中は高三期の高津さん、同期の谷田さんと会長の世代交替期で、PTA会長も高津さん、同期の真鍋さん、池高同期の奥さんと、高三期にご縁が深うございました。その後もゴルフで高三の会高五の会に参加させて頂き、また一人でコースに行くと話の中で何期ですと度々言われ桜塚とご縁が深く、卒業生の皆さん本当に有難うございました。

お祝いというより思い出を述べましたが、桜塚高校並びに尚和会の増進を祈念致し筆を措きます。

創立七十周年を祝して

第十七代校長 関谷 茂紀
(平成11年4月～14年3月)

創立七十周年おめでとうございす。母校の栄えある歴史と伝統に敬意を表します。

私は、平成十一年から平成十三年度まで勤務いたしました。初めて学校を訪れたとき、正門で迎えてくれた立派な枝垂れ桜、さらに、玄関正面に立つ「ほむら野」の像、廊下の窓越しに見える落ち着いたすばらしい庭園・「恩露園」「恵風苑」からは歴史の重さと卒業生の母校に対する思いが伝わってきました。六月頃、その片隅に咲いた一輪の紫陽花を、時折思い出しています。

生徒諸君が笑顔で「先輩がよく私たちの面倒を見てくれますので」と応えた様子に、明るく活発で素直さを感じつつ、高校生活を満喫しながら達成したい進路希望が強くあることを感じ、

「生徒の希望する進路の達成」のために夏期講習の強化と教育課程の見直しを行いました。結果は、大阪新聞に関西大学四十八名合格、順位六十一校目と掲載されました。PTAの後援会「桜援会」を立ち上げたのは、クラブ合宿及び進路講習会の援助ができればとのことでした。また、大阪大学からの出前講義を学区内府立高校希望者に実施したのも学問への興味づけをねらったものでした。

赴任した頃、新幹線のトンネル内壁剥離落下が多くありました。本校の校舎壁面も剥離落下し、急遽全校舎外壁工事を実施しましたが、「桜塚カラー」の再現には少々苦勞しました。平成十三年六月九日午前十時過ぎに起こった、あの忘れられない大阪教育大学付属池田小学校事件は本校体育祭の最中のことでした。知らされたときには解決していましたが、未解決であったなら体育祭の中止もありえたことと思います。また、その前年の平成十二年十月六日午後一時三十分頃、授業中に鳥取県西部地震がありました。生徒の動揺がひどくグラウンドに全員避難させ、テレビニュースの概略を伝え地震の避難方法を阪神大震災の経験を生かして指導しました。教員生活の中でこの様な大地震が授業中にあったことは他に記憶がありません。

伝統とは、時代の流れに機敏に対応して生き抜く力だと思いますが、先輩の先生方が大切に学校を守ってこられたことを深く思いつつ、さらなる桜塚高校の発展を祈っております。

歴代尚和会会長ご祝辞

創立七十周年を祝う

第七代尚和会会長 高津 弘
(高三期)

先ずは母校の創立七十周年お目出度うございます。突然一筆をと云われて驚いた反面、久しぶりに文章を書くと言うことで緊張してしまいます。手前味噌で恐縮ですが私は四十周年の折の山本俊雄校長、木村益子尚和会々長のものPTA会長として、又五十周年の折には菊川映人校長、牧正英PTA会長のもの尚和会々長として夫々の記念誌に祝辞を掲載させて頂きました。それから早二十一年が過ぎました。十年ひと昔と云いますがそれがふた昔ともなれば世の中大きく変わります。身近の生活様式や週五日制と云った学習形態も大きく変わりました。私自身も会合で顧問(こうもん?)さんとかご隠居さんとか呼ばれる身分を楽しみような年になってしまいました。

そんな時に昨春孫が本校に入学致しました。そうです、之で我が家は親子・孫三代が桜塚高校の同窓生と云う事になった訳で、誠に嬉しい次第です。格差問題、少子高齢化、教育法改正問題山積の難しい世の中ですが、母校には是非とも「温故知新」「初心忘るべからず」の気概を新たに、次の八十年、百年に向かって更なる発展を大いに期待するものであります。そのためにも今後、多くの教職員の方々、尚和会、PTAの皆さんの尚一層の御指導と御支援をよろしくお願い申し上げる次第です。最後にもう一度、七十周年お目

出度うございます。

祝創立七十年
会長時代の想い出

第八代尚和会会長 谷田 探成
(高二期)

母校桜塚高校も今年は創立七十年を迎え、先ずは御同慶の至りです。

同時に私が会長時代にもっとも印象的というか、感動した想い出として、未だに忘れ難い五十周年頃(昭和六十一年～六十三年頃)を振り返りたいと思う。

当時の菊川校長と岡田教頭両先生のご熱意のおかげもあって、現在の恩露園、恵風苑が立派に再生したこと。勿論同窓諸兄弟の温かい御協力があったことは言うまでもないことでした。

更に当時大阪の玄関梅田に近代的な外資ホテルが誕生。即ちヒルトンという世界的にも名前が通った最新ホテルでの記念パーティは、果たして相応しい人数が確保されるかどうか、責任者としてまさに薄氷物でした。しかし案ずるよりも、の例え通り、学校職員先生方の御参加も得て、五階大ホールが満杯の盛況となり、ゲストのベギー葉山さんからもお祝いの詞も頂き、幹部一同やつと肩の荷を下ろした思いでした。

更に今一つの想い出は、東京支部のことでした。遠隔地の同窓の為に、他校には存在する「支部」が尚和会には一つもないことでした。早速同期より少し若い後輩の賛同を得て、また高女の方々が既に作っておられた親睦会の残金を会計の方へ引継ぎ、代わりに先輩方に以後御案内を発送することとなり、幹部数人がそれこそ自弁自腹でまずは支部創ろう会をスタートさせまし

た。今は亡き高四期の小川尚子さん、杉山直弘君の一生けんめいになって頂いたことは忘れられない想い出です。

また第一回目は東京茅場町の鉄鋼会館を借りて、確か三、四十名の高女以下の同窓の集いであつたと思います。それ以来ずっと関係の方々に尽力して頂き、やつと正式に支部が誕生して、井上真一氏(高七期)が初代の支部長に就任、昨年より二代目斉藤良和氏(高十一期)が張切ってくれているのを見ると、まだまだ問題は多いけれど、昔日の感一しおといった所です。

どうか関東在住の方々の心よりの御協力、御支援を大阪より願っております。

創立七十年に想う

第九代尚和会会長 荻野 哲男
(高六期)

母校、桜塚の創立七十年を祝うことができますことは、誠に慶賀のいたりに存じます。

創立五十周年、六十年と、尚和会の役員として記念事業に参画して参りましたので、この七十年を祝うことができますことは、誠に感無量です。

母校が高等女学校として昭和十二年に創立されて以来、激動の草創期、戦後の混乱期を経て、今日、北摂の地で歴史ある伝統校として地域社会に高い評価を得ていることは、誠に喜ばしい限りです。

言うまでもなく、母校あつての尚和会であり、尚和会あつての母校でもあります。常に母校と同窓会は一体であり尚和会にも又、長い歴史があります。ここ二十数年間を顧みますと、女性会

長(高等女学校)から男性会長へ(新制高校)、恩露園、恵風苑の築庭(五十周年記念事業)、足掛け三年を費やしての会則改正、東京支部誕生、会報の有料制の実施、母校野球部の北大阪大会準優勝等、走馬灯を見るかのように次々と思ひ出されてきます。

特にこの野球部の準優勝は、尚和会にとつて多大の活性化に繋がったこと、又、校庭にありました、創立以来の立派な藤棚を惜しみながら撤去して、公式試合のできるグラウンド整備に、尚和会が支援したこと等、懐かし

く思い出されます。

昨今、教育再生が叫ばれておりますが、教育とは個人を成長させるためだけではなく、社会を築くためにあると思います。今、正に二十一世紀、個性豊かで、自立心、創造力、実践力のある人材が必要とされる時代です。母校桜塚には、立派な教育方針があります。今一度、教育が何のために必要なのかを議論して頂いて、学校、PTA、尚和会が一体となり、より鮮明な桜塚カラーを確立して、二十一世紀をリードする立派な卒業生を輩出して頂きたいと考えます。

終わりに、母校、桜塚及び尚和会が、次なる八十周年に向けて、益々発展致しますことを祈念する次第です。

恩師の近況

矢野 通泰

箕面市在住

昭和二十九年桜塚高校六期生として卒業し、その年母校に職員として就職しましたが、周りは恩師ばかりで頭

母校創立七十年記念尚和会総会(出席予定恩師の方々)

西郷 正人	全定校長	水田 紀久	全	国語
石橋勘一郎	十二代校長	松宮 達也	全	数学
田代 徹也	十五代校長	弓庭 栄夫	全	数学
関谷 茂紀	十七代校長	助永 芳子	定	実助手
筒井 康夫	全教頭	安川 晶子	全	英語
岡田 壽一	全教頭	山本 孟	全	国語
石橋 三彦	定教頭	坪田 堯	全	美術
杉本 英世	定教頭	小澤 澄子(磯田)	全	事務
小久保勝司	事務部長	戸田 緑	全	英語
城 治明	全事務部長	藤森 正義	全	社会
高橋桂四郎	全英語	松井 才智	全	英語
中西 昭次	全英語	加藤 勇	全	体育
内田 彰	全理科	金丸 義和	全	事務部長
河野 太	全数学	文珠 正子	全	国語
後藤 保二	全国語	岩崎紀美子	全	国語
相澤 昂	全社会	仲 明世(高山)	全	体育
赤崎 豊	全家助手	小路 玲子(古澤)	全	家庭
宇野 仁策	全数学	岡崎 博哉	全	理科
柳澤 勤	全国語	(敬称略・順不同・カッコ内旧姓)		
柳澤 千吉	全数学	現職員の先生方も学校長をはじめ		
寺本 敏夫	全数学	として出席の予定となっております。		
矢野 通泰	全事務	恩師の方々と共に七十年を盛大		
辻内 興彦	全数学	にお祝いたしたく皆様方のご参加を		
西山 淳	全理科	お待ちしております。		
山崎 一徳	全理科			

き方があることを思い、趣のある生活に努めています。

辻内 興彦

池田市在住

桜塚高校七十年記念おめでとうございます。大好きなゴルフで身体を鍛え、寺社まわりの精神を整え、一病息災でのんびりと、つつがなくくらし

坂本 信彦

池田市在住

ご連絡ありがとうございます。いつの間にか余生をすごす年に入り複雑な気持ちです。でも、それなりの生

月足 千秋

池田市在住

創立七十年おめでとうござい

切り捨てられいく現状に憤りを禁じ得ません。未来を担う青年が本心に民主的で平和な日本を築く青年として育つよう願ってやみません。

門 節子（油野） 御殿場市在住

何とか元気に過ごしております。七十年も体を使いますと、いろいろと故障が出て来ています。何とか、朝、散歩したり、老人大学へ（三月迄）参加したり、コーラスに行つてストレス解消したりしています。

中村 恵 豊中市在住

定年まであと二年余りになりました。歌舞伎鑑賞で年に数回東京まで行き日頃のストレスを解消しています。

佐野 方一 豊中市在住

七十周年おめでとうございます。先日は十三期の同窓会に出席して楽しい時間を頂きました。御盛会を祈ります。

永廣 富延 大阪市在住

昨年四十八年の教員生活を退職しましたが、そのうち十七年は桜塚で過ごさせていただきました。初めて担任したのは十九期生で、その中には阪神へ江夏投手と共にスカウトされた奥田投手が居り、野球部最盛の頃でした。当時学校行事でスキー指導が出来るほど元気でしたが、古稀を迎えて三年も経つとゴルフが唯一の健康のバロメーターとなり、冬季は別として、週一回は必ずコースに出かけるように努めております。因みにオフイシャルハンデイはずいぶん昔から十のままで、てんかす（十のかす）と嘲られることもあります。今のところ、五年少し前の大

病の再発の心配もなく元気にしております。盛会を祈ります。

加藤 勇 寝屋川市在住

現在、淀川工科高校におります。なつかしい顔が見られることを楽しみにしております。

中井 学 伊丹市在住

体調が崩れていますので欠席いたします。会の盛大でありますよう願っています。皆様にはくれぐれもよろしくお伝え下さい。

村上 晃 尼崎市在住

変化の少ない平凡な毎日のくりかえしです。

林 しずゑ 箕面市在住

地域では最高の年齢です。あとどれ位生きられるかわかりませんが、残された人生を迷惑をかけない様に日送りしようと心がけています。只今は家族に囲まれて健やかに暮らしています。

石橋 三彦 吹田市在住

創立七十周年、おめでとうございます。クラーク記念国際高校に勤めています。元気な生徒達に囲まれ、楽しくやっております。

長尾 和栄 門真市在住

元気に過ごしております。毎日午後一時間程散歩をしております。

小澤 澄子（磯田） 京都市在住

創立七十周年おめでとうございます。歴代の先生方、生徒、皆々様それぞれの努力あってこの日が迎えられた

ものと思います。豊女最後の八期生だった私はもう七十五歳になりました。豊女二年の夏に終戦。学徒動員で工場へ出ていた同級生から四人、上級生から三人の犠牲者を出しての終戦でした。豊女四年になる時に学制改革で高

馬場 秀子 東大阪市在住

一応元気にしておりますが、歩行が少し大変ですので失礼いたします。

岡本 毅一 箕面市在住

病気のため欠席いたします。ご盛会を祈ります。

高岸 芳郎 茨木市在住

ご案内を有難う存じました。残念乍ら都合により出席できませんが、ご盛会を心より祈っております。

山崎 一徳 箕面市在住

二〇〇五年に六十五歳になってから公的な仕事はいっさいやめてのんびりしています。人生ではじめての何もしなくていい日々です。料理サークルなどに行きだしました。

柳澤 千吉 池田市在住

大阪府下八校で勤務させて頂きま

したが桜塚高校に最も長く在職し、思い出も多く、生徒諸君の中には今年賀状を毎年頂く方が沢山居り嬉しく思っています。お陰さまで元気で時折海外旅行を楽しんでおります。桜塚を去って三十五年、八十歳になりました。なつかしい方々にお会い出来るのを楽しみにしています。

武田三千雄 今治市在住

いつも尚和会のご案内をいただき有難うございます。私は昭和三十八年一年間だけの勤務でしたので、皆様はおぼえていただけないと思いますが、私にとりましては二十歳台の教員生活を送った学校で強い印象が残っている一年で、今も上阪の際はそつと桜塚高を訪れてなつかしく思っております。愛媛県の公立高校を退職し、第二の務めも終え今はテニス、畑の仕事等で毎日元気に過ごしております。桜塚高校のますますのご発展をお祈り申し上げます。

土井 唯司 兵庫県猪名川町在住

現在、夜桜（桜塚・定）勤務です。

佐々木利昌 高槻市在住

一九七一年四月に二十三歳で赴任した私も、二〇〇六年末の今、五十九歳となりました。現在、大教大附属高校池田校舎で元気に奉職しています。

二〇〇六年にはパキスタンのカラコルム山脈からガンダーラ地方を踏破しました。二〇〇七年は現役最後の年の夏にモンゴルのアルタイ山脈に出かける予定です。ご盛会をお祈りします。

杉木 勝磨 大阪市内在住

腰を痛めて遠くへ行くことができな

履正社高等学校
(男女共学校)

- 集約文理コース・Ⅰ類
- 集約文理コース・Ⅱ類
- 普通コース・Ⅲ類
- 普通コース・スポーツ

豊中市長興寺南4-3-19
☎06-6864-0456

履正社学園
豊 中 中 学 校
(男女共学校)

- 3カ年独立コース
- 6カ年特進コース

豊中市長興寺南4-3-19
☎06-6863-7539

履正社学園コミュニティ・スポーツ専門学校

- ウエルネススポーツ科
・スポーツトレーナーコース
・サッカーコース・テニスコース
・健康スポーツコース・野球コース
 - 鍼灸学科（昼間部・夜間部）
 - 柔道整復学科（昼間部・夜間部）
 - 理学療法学科（昼間部・夜間部）
- フリーダイヤル 0120-8404-21
☎06-6305-6592

履正会館（文化・体育活動）

- 履正スイミングクラブ十三
☎06-6303-0401
- 履正スイミングクラブ曽根
☎06-6865-1021
- 履正スイミングクラブ金剛
☎072-366-3741
- 履正余暇活動
☎06-6303-0401
- 履正科学体育研究所
☎06-6303-0025

学校法人 履正社
理事長・学園長 釜谷行藏（高校3期）
法人本部／大阪市淀川区十三本町3丁目
4番21号 〒532-0024
TEL.06-6305-5090
ホームページアドレス <http://www.riseisha.ac.jp>

くなりました。ゆつくり静養します。

相澤 昂

泉佐野市在住

平成五年に鳥飼高校長を最後に府立高校を定年退職し、今年で十四年目。あと三年で喜寿ですが、益々元気で、交野市の大阪府警察学校で新任警察官に「大阪の地理と歴史」を教えています。

坊 章子（島倉）

池田市在住

七十周年本当におめでとうござい
ます。尚和会報の御写真で先生方のお
姿拝見しております。昨年還暦を迎え
ましたが少し体の具合が悪く欠席させ
ていただきます。

武田 昌恵（宮川）

仙台市在住

満八十歳になりましたが、元気に
週一の割合でプールで泳いでいます。
創立七十周年記念の御案内を頂きまし
たが、僅か一年半の勤務でしたので、
おこがましいと存じ、高女三期生とし
て、出席させて頂くかも！と思ってい
ます。

平田 温子（日野）

箕面市在住

創立七十周年およろこび申し上げ
ます。ご案内頂き有難うございます。
体調すぐれず外出致しかねますので失
礼させて頂きます。ご盛会お祈り申し
上げます。

水田 紀久

吹田市在住

満八十一歳を過ぎました。池田城
南中二年、桜塚高二十一年、関大十一
年、金蘭短大十一年専任で勤め、いま
は年金暮らしです。非常勤もすべてお
役御免で、近隣都市の生涯教育、大阪

府の種々の委員、近世浪華の文人学者
木村兼葭堂顕彰会の二代目代表を務め
ています。加齢性難聴、脊椎狭窄症
等々です。

後藤 保二

大阪市在住

現在府立東住吉高等学校に勤務し
ています。私が担任をした全日制三十
三期と四十期の皆さんに会えるのを楽
しみにしています。

伴野 彰子（引野）

東京都在住

私は亥年生まれで、平成十九年に
は八十四歳になります。年の割に元氣
で、八年前主人が亡くなりましてか
ら、次男と同居し、隣りには長男家族
が住んで居ります。今は仕事はしてい
ませんが、二十余年来、フランス語の
勉強をつづけ、コース、ヨガ、体操
のクラスに参加、ささやかなボランテ
ィア活動もしています。かつての桜塚
高校の教え子数人と二十年来、毎年二
度程、ハイキング旅行を楽しんで居り
ます。

高木 信祐

丸亀市在住

香川県立丸亀養護学校で高等部を
中心にがんばっています。

倉田 順雄

豊中市在住

創立七十周年おめでとうございま
す。創立六十周年祝典に出席したの
が、つい昨日のように思われます。出
席したいのですがあいにくの腰痛の
為、欠席致します。御盛會を祈ります。
九十二歳になりましたが何とか元氣で
すが、大分ボケて来ましたよ。

梅田 健一

伊丹市在住

二年前に足を痛め、歩行に補助具
なしでは困難となり、大阪は勿論伊丹
市内への外出が困難となり、自宅附近
をうろうろというところで同窓会にも
総て欠席しています。

吉川 盛久

奈良県北葛城郡在住

昭和四十二年四月～昭和四十九年
三月 桜塚高校
昭和四十九年四月～平成五年三月
東住吉高校
定年退職後・写真機を首からぶら
さげて、奈良県・京都府内を歩き廻る
のが、私の大きなたのしみです。

神田 詩朗

日進市在住

五年前に愛知県立芸大を定年退職
し、古稀を迎えました。平成十八年十
月には、名古屋にて恐らくこれが最後
になるであろう独唱会を開きました。
かつての高校の校舎は木造で中庭が美
しく、しっとりとした雰囲気包まれて
いたことを、いつも懐かしく想い出し
ています。

鶴崎 熊太

豊中市在住

七十周年を謹んで心からお祝い致し
ます。益々向上発展致しますようお祈
り申し上げます。私も今年九十八歳に
なりました。身体も不自由ですので欠
席致します。皆様の御多幸を祈ります。

中西 昭次

豊中市在住

桜塚創立七十周年の記念総会への
出席を楽しみにしています。私、喜寿
を過ぎてはや二十歳台最後の年を
迎えています。月一回のゴルフのラウ
ンド、週一回のグラウンドゴルフへの

参加と年齢相応のプレーを楽しんでい
ます。加齢に伴う体力、気力の衰えは
否めませんが、どうにか元気に過ごし
ています。

仲 明世（高山）

大阪市在住

桜塚高より旭高を経て、布施北高
に勤務しています。五年前に主人（仲
慶謐・恩師）が亡くなりましたが、そ
の時には桜塚高の卒業生に随分慰めて
いただき、とても嬉しく思いました。
縁の人たちに会いたいものです。

大口 孝

京都府乙訓郡在住

退職してから、ずいぶんの年月が過
ぎてしまった様な気がします。趣味の
生活に励んでいます。四十一年前の光景を思い
浮かべながら激しい時勢に、出遅れな
いように、心掛けています。

内田 彰

大阪市在住

私の母校は北鮮で、もう六十年程
前に、私の卒業後消えてしまいました
が、創立が桜塚とほぼ同じ時期なので
もう七十年かとびつくりしてなつかし
く思っています。是非出席したいと思
っています。

宇野 仁策

守山市在住

創立七十周年おめでとうございま
す。心よりお祝い申し上げます。まだ
聖母被昇天学院高校で教鞭を執ってお
ります。今年、古稀を迎え過去を振り
返る今日この頃ですが、人間どのよう
に動こうともこの宇宙を創造した偉大
なる存在がデザインした中でのことで
あると痛感しております。

赤堀辨太郎

徳島市在住

趣味を通して若い人達との交流を
楽しんでいます。（弓道）

吉田源三郎

箕面市在住

記念総会おめでとうござい
ます。またご案内ありがとうございました。
体調を崩しており、残念乍ら出席でき
ません。ご盛會を祈り上げます。ご出
席の先生方や会員の諸賢兄弟によろし
くご鳳声下さい。尚和会のみますの
ご隆榮を祈っています。

関 俊一

高槻市在住

九十三歳の高齢です。歩行不能、
車椅子で移動。年相当の健康です。

谷本 祐子

箕面市在住

金蘭千里高等・中学校に移り、三
年目になります。元氣に古典を教えて
います。

井上 馨

大阪市在住

現在病氣療養中で薬とリハビリを
中心に過ごしています。とくに病氣に
より足が不自由となり、一人歩きで外
に出かけることなど危なくてできない
状況です。

中山 哲夫

吹田市在住

私の生まれた年に創立された桜塚
高校。創立七十周年記念尚和会総会の
御盛會をお祈りいたします。

勇上 和市

箕面市在住

退職して五年、元気でやっております。
茨木市役所へ嘱託で勤めて五年
目になりました。空いた時は山登りや
ゴルフ、コースなど好きなことをや

つてすごしております。現役の時に始めたスポーツジム通いも十年をすぎました。会のご盛会を心より祈念しております。

寺本 敏夫 奈良市在住

今年もう八十歳ですが昔のなつかしい思い出、大切にしたい気持ちで参加させていただきます。平和運動などは今もしています。総会お世話さまですがよろしく。

高橋桂四郎 枚方市在住

桜塚には二十三年間お世話になり、ことの外愛着を感じます。近年身体の衰えか、何事にも不如意ですが、天命に従い生きて行ければと思っております。出来れば、ほめられもせず苦にもされず、がよいのですが。御自愛下さい。

柳澤 勤 大阪市在住

桜塚を離れて九年目。長吉高校で中国、韓国、ベトナム、フィリピン、ブラジル、ペルー、ボリビアからの生徒を相手に日本語を教える毎日を送っています。

赤崎 豊 豊中市在住

足の運びがだんだんと悪くなってきましたが出来るだけ出席致したく、どうぞよろしく御願い申し上げます。

西村 紀男 大東市在住

創立七十周年記念総会おめでとうございます。当日は都合により欠席します。現在も日本百名山に挑戦中です。昨秋はアフリカの最高峰キリマンジャロ山にも登ってきました。

西山 淳 宝塚市在住

月日の早く過ぎるのに驚いております。細々ながら囲碁と山歩きを続けなんとか元気にやっています。また毎月一週間程度の田舎ぐらしも岡山蒜山でやっています。

大島 敏枝（山下） 白山市在住

創立七十周年おめでとうございませう。月日の経つのは早いものですね。つい此の間豊中高女時代にお勤めしていたと思いますのに、私も卒米寿!!北陸の地で元気に過ごしています。同窓会の皆様によりしくお伝え下さいませ。

尾田 翠（松村） 神戸市在住

御案内有難うございました。もう七十周年にもなり、お元気な人達が巣立たれては御活躍のことを思うに感無量でございます。何とぞお元気にとお祈り申し上げます。私は三年前小脳梗塞で杖二本、でも元気です。

鈴木くにえ（大場） 仙台市在住

桜塚高校創立七十周年おめでとうございませう。御案内状ありがとうございます。結婚と同時に退職し、金婚式を迎えました。おかげ様で夫婦共に元気で過ごしています。桜塚高校の益々のご発展をお祈り申し上げます。

鳴海 靖子（入江） 横浜市在住

創立七十周年おめでとうございませう。足腰が不自由になり、とても大阪まで行けそうにありませんので、遠くから総会の盛大なる事を祈っています。建築中の校舎の窓から出入りしていた頃を想い出し、なつかしさで一杯

です。

岡田 壽一 茨木市在住

創立七十周年おめでとうございませう。母校並びに尚和会の益々のご発展を祈念致します。お陰様で私も元気に過ごしており、旧知の方々と久々にお会いするのを楽しみにしています。

糸瀬 淳 高槻市在住

創立七十周年おめでとうございませう。在職中は、校舎の改築や、創立四十周年の記念行事で大変苦労したことが思い出されます。年齢相応の日々を過ごしております。

山本 孟 豊中市在住

今年で七十五歳、歳相応に無理をしないで暮らしています。短歌を作ったり、詠んだり、その会に出たりというのが毎月の定期的な行事です。批評を書くことで頭の体操になっています。

文珠 正子 吹田市在住

七十周年おめでとうございませう。五十期一、二、三年、五十四期一、二、三年、五十五期三年の担任でした。六十周年の時には桜塚に在職中でした。茨木東高校に転勤して四年、時のたつ速さを改めて感じています。

小路 玲子（古澤） 豊中市在住

お世話をおかけします。現在第二学区の鳥飼高校に勤務しております。この四月からは茨木東高校と統合で、北摂つばさ高校となりますが、現一、二年は新二、三年となり、鳥飼高校としてはあと二年となります。また縁あって現二年生に桜塚高校生とし、息子

がお世話になっております。

北宮 康史 大阪府豊能町在住

幹事様ご苦勞様です。残念ながら当日は所用があつて出席できません。桜塚高校では短い勤務期間でしたが楽しい思い出一杯です。私、現在池田高校で非常勤講師として週十一時間教壇に立っております。

和田 充司 茨木市在住

桜塚で早や十四年になります。日々新鮮な気持ちで失わぬよう心がけております。

藤森 正義 茨木市在住

桜塚（全日）勤務も早くも今年三月末で十年。一区切りついた感じで、別の職場で新たな出発を考えています。

松宮 達也 大阪市在住

桜塚高校には、十九年間お世話になり、大手前高校で定年を迎え、現在は、私学の高等学校でまだ現役で数学を教えております。身体は健康で、休日にはカメラを持って、ハイキング、山歩き、名所旧跡巡りなど元気にしております。創立七十周年記念総会で、皆さんとお会い出来るのを楽しみにしております。

坪田 堯 河内長野市在住

絵画を趣味として過ごしています。

三木 敏次 箕面市在住

案内をいただいたのに申しわけございません。現在、府立池田北高校に勤めて担任をしています。

井上 まさ 豊中市在住

残念ながら病気のため出席させていただきます。ご盛会をお祈りします。次の機会をたのしみに。

田中 恒雄 吹田市在住

昨年、肺癌の疑いで入院治療を受けましたが、幸い良性の腫瘍で完治しました。自重しております。ご盛会を祈ります。

薄木 智子 大阪市在住

この度はご案内を頂きましてありがとうございます。あいにく当日は所用があり参加できません。ご盛会と云われますよう、お祈り申し上げます。またいつか出席できますのを楽しみにさせていただきます。

小河 敏子（北村） 東京都在住

昭和十三年、私は創立二年目の豊中高女学校へ赴任いたしました。そして今、桜塚高校創立七十周年のお祝いが申し上げられる事は本当に誇らしくうれしい事でございます。九十二歳になった私は周囲の人達にささえられてくらし居ります。病気になる様にと心がけ、身のまわりの事は出来るだけ自分でしたいと思つて居ります。まだ一人で出来る事が多いので老人達のグループに仲間入りして、話し合いの会、体操、音楽、工作、料理等の作業にも参加させてもらい、楽しい時を過ごさせてもらつて居ります。そして楽しかった学校の時代を偲んで居ります。お世話になりましたありがとうございます。

隅田 利夫 豊中市在住

来年度、もし転勤がなければ、夜

桜十年目在職ということになります。九年間在職しておりますので、卒業生の方々と交流を深めたいのですが…。

松井 才智

豊中市在住

七十周年おめでとうございます。(実は母と私の母校でもあります)息子が高校生になり、在職中の事をよく話題にするようになりました。主人(松井利雄)が出席できませんが、私が二倍楽しみにしております。

中井 潤弥

吹田市在住

残念ですが欠席させていただきます。現在も豊中市バレーボール連盟でバレーボールに関わっております。皆様方に宜しくお伝え下さい。幸田さんと子さん益々の御活躍期待しております。

小野満由美

大阪市在住

平成十八年四月から吹田東高校に勤務しております。

常藤 知子

豊中市在住

大学を卒業してほんの数年間の勤めでしたが、素晴らしい先生方との出会い、そしてとてもかわいい生徒達との出会いがあり、今でも私の心の中の宝物です。早いもので長女も今年成人式です。二女は某高校で審良先生、二木先生、矢野先生に偶然にもとてもお世話になっていきます。

井須隆一郎

豊中市在住

数え年では喜寿を迎える歳となりました。桜塚現役時代は力満ちた青春時代の感があります。今は氣力、体力の衰えは何ともしようがありませんが、油絵を描く楽しさと、謡や舞を嗜

みつつ、いささかの酒と読書に氣力の衰えを補っております。

中田 勝利

大阪府能勢町在住

全日制十一年、定時制六年プラス二年現在に至っております。

植松 知美

豊中市在住

今年度からの現職員です。御世話になります。

森本 憲夫

大阪市在住

創立七十周年、誠におめでとうございます。記念総会が御隆盛の程を念じ上げます。

中倉 邦雄

池田市在住

二〇〇六年三月に甲陽学院高等学校を退職し、桜塚高等学校、豊中高等学校の二十一年とあわせ、四十一年間の教職生活をおえ、自らの時間を自らのみに費やす生活を満喫しています。

岩崎紀美子

豊中市在住

退職して九年になります。元気で遊んでおります。

弓庭 栄夫

豊中市在住

創立七十周年おめでとうございます。私は桜塚高校に昭和三十八年から昭和五十八年まで勤務させて頂きました。一昨年府立高校を完全退職し、昨年四月より、豊中市千里園地区の自治会長を頼まれて、毎月の豊千会定例会や、大池地区社会福祉協議会の定例会に出るなど忙しくしております。五月二十日皆様にお目にかかることを楽しみにしております。

坪井 明

生駒市在住

小生十一月に寓居を移しましたので御承知下さい。明けて九十七歳、桜塚在勤時代はすでに六十年代、当時の事は夢のようです。原稿はご勘弁下さい。創立七十周年おめでとう。

谷 三栄

三田市在住

現在、桜塚高校に非常勤講師として週三日通っております。いい生徒さんばかりで学校へ行くのが毎回楽しみで。

高谷 善雄

大阪市在住

山岳部OB会はこの二月の集まりで、八十七回目を数えます。現メンバーは三期、十九期生と限られています。が、楽しい仲間と楽しい時間を共有できる幸せを実感しています。

篠田 道寛

豊中市在住

創立七十周年おめでとうございます。記念総会には万難を排して出席したかったのですが、あいにくと一万一個目の用事が出来てしまいました。また別の機会に声をかけていただければ幸いです。

城 治明

茨木市在住

平成十八年五月三十一日付で学校法人玉手山学園関西福祉科学大学高等学校を退職し、現在はサンデー毎日の

生活です。ゴルフ、たまに旅行に出かけたり、図書館は近いのでほぼ毎日行っています。人生で今が一番ゆつくりした生活を送っています。

中村 安蔵(故人)

大津市在住

十年余りの年月を入退院にて過ごしておりましたが、急性肺炎で、昨年十月七日に九十歳にて眠るが如く安らかに永眠致しました。創立七十周年記念総会には残念ながら出席できませんが、御盛會を心から祈っております。色々と御世話様でございます。皆様方によりしく御伝え下さいませ。(奥様の徳子様より)

学校だより

現在^{いま}高校六十期生は

第二学年主任 河村 光子

六十期生は七クラス、担任も七人七様ですが、生徒も次第に個性豊かに育っているように感じています。

さて昨年は、大きなイベントのオーストラリア修学旅行を無事終えることができました。海外修学旅行そのものへの疑問の声もある中、係を中心として何度も話し合いを重ね、保護者説明会も経ての実施でした。天候にも恵まれ、山と海の世界遺産に触れ、充実した内容でしたが、何より良かったのは学校交流ではなかったかと思えます。

準備の段階では不安な事ばかりでしたが、生徒達は楽しい時間を持ってくれたようです。若い時に、海外に出て違う文化に触れ、交流の場を持つというのは得難い体験です。今、世界に

企業のIT導入を支援します

Ms'Net

ITコンサルタントの専門集団 エムズネット
代表:三好康之(高36期)

いつまでも
ITベンダーの言いなりで
良いのでしょうか?

【主な業務内容】

- ITコンサルティング
- システム開発
- IT教育
- 出版

社会人教育の現場から緊急発進!
ITを追求したカリスマ講師が語る。



「先生に教えてほしかったこと」
好評発売中!

<http://www5b.biglobe.ne.jp/~miyomiyo>

今すぐ、ここにアクセス!



オーストラリア修学旅行 現地高校生との交流

は戦いや飢饉など不幸な事はたくさんあります。日本にいる自分とそのまわりを見つめ直すと共に、世界への目を開くきっかけになれば何よりです。

今年は六十期生も最終学年となります。「大学全入時代が来た」などと言われていますが、決して「なだらかな道」が開けているわけではありません。

自分の進路についてよく考え、実現に向けて力を出しきってほしい。素直な笑顔の生徒達を見るにつけ、深く願わずにおれません。

新しい桜塚

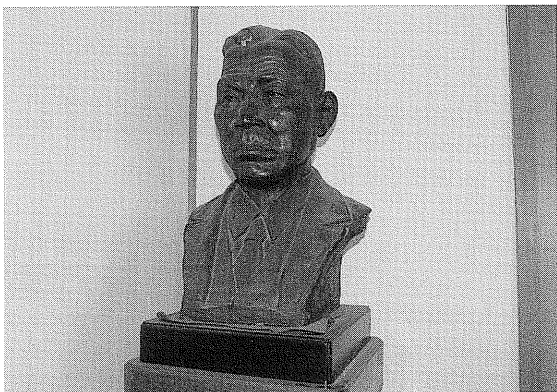
六十一期学年主任 田中 淑

創立七十周年おめでとうございませう。時の流れの中にあつて本校が日々発展を続けて来られたのは、ひとえに諸先生方、PTA、同窓生、在校生の皆さんの桜塚を愛する心の賜物でしょう。

私が高校生であつた頃は、校舎の配置も現在と違い西側に美しい中庭と

木造校舎があり、実に落ち着いた雰囲気だ。学校という印象がありました。女学校の流れを引き継いでいるからか、特に女子にとっては最もあこがれる高校であつたように思います。その当時から「嫁さんにするなら桜塚の女の子」という定説があり、現在もその主張は正しいように思います。生徒一人一人の心が豊かで、桜の花の美しさが人の心を和らげる力があるように、私達教員の心も多くの生徒達が癒してくれまう。学校をとりまく世界がいかに変化しようとも。

学舎内より珍しい二作品 見つかる!!



初代校長 近藤栄蔵氏胸像（昭和12年2月～昭和14年11月在職）



卒業記念制作品か（昭和30年代後半？）

今、創立七十周年を迎え、学区の再編という変化を本校がどのように受けとめていくか、これまで以上に桜塚が進取の気概で乗り切る覚悟を必要とされているように思います。良き伝統も誤れば旧き悪習と化すことがあります。私達六十一期担任団は、六十歳は人間で言えば還暦、六十一年目からは新しい人生の再スタートの気持で、桜塚高校の再構築に船出しました。学校創設以来の多くの方々のご努力に感謝しながら、新しい誇りある桜塚の創造に全力を注ぎたいと思っています。

母校行事 平成十九年度

平成19年4月9日（月）入学式

5月22日（火）創立記念日

6月7日（木）体育祭（全）

7月9日（月）～18日（火）

校内球技大会（定）

9月14日（金）～15日（土）

文化祭（全）

10月1日（月）～6日（土）

2年修学旅行（全）

10月25日（木）～26日（金）

文化祭（定）

11月10日（土）

学校見学会（全）

11月18日（日）

70周年記念行事（全・定）

平成20年2月29日（金）卒業式

（全・第60回、定・第58回）

母校クラブだより

水泳部

顧問 河野 太

六十期生十五人と六十一期生九人。二〇〇七年の夏に向けて冬の陸上練習に専念しています。目標を見失いやすく、気力も低下しがちな冬こそ、自らの競争心に対する気持ちを試されるのかもしれない。温水プールがなく、泳ぐ機会が激減する中で少しでも陸上で効果的なトレーニングを行うべく創意工夫を行っております。

ラグビー部

マネージャー 北前 周子

去年の秋大会、少し肌寒くなつてきた頃に桜塚ラグビー部は見事一回戦、二回戦と勝ち抜き、三回戦で去年の優勝校の東海大仰星とあたりました。百十八対〇。大敗でしたが、三年生にとっては最後の試合。精一杯力を出した部員の姿は最高に格好良く、改めてラグビーというスポーツの凄さを見せつけられました。

桜塚は、他の高校ともよく練習試合をしますが、池田とは毎年冬に定期戦をしています。現役部員戦とOB戦の二試合で、今年で十回目を数える定期戦、七対三の割合で勝つていて、もちろん今年も勝ちました。

また水泳部は非常にたくさんの卒業生が部活に訪れるのが特徴です。それだけ思い入れが強いのだと自負致しております。昨年度の夏合宿も卒業生たちの多大なる協力で苦しい練習を乗り越えられました。自分が現役時代先輩に助けられた分、卒業してから恩返しするという循環であります。

今春五十九期生が巣立っていきます。そしてまた彼らも夏に帰って来て

くれるでしょう。その時に六十、六十一期生が今よりも一層逞しく進化した競泳選手へと育ち、これから入部してくるであろう六十二期生を迎え入れ、育て上げる事が出来るように日々精進に励む所存であります。

そしてこの夏、母校創立七十周年の輝かしい伝統に恥じることのないよう、自己記録の大幅な更新を成し遂げるべく、部員一丸となって会心の一泳を追いかけて行きたいと思っています。

が、渡辺先生も勧誘してくれたおかげで、部員数も十五人になり、やっとのことで一月の十五人制の近畿予選にも出ることができました。

一時はどうなることかと思ったラグビー部でしたが、一回戦では一人ひとりが力を発揮して三十六対〇と相手チームに大きく差をつけて勝つことができました。二回戦は残念ながら負けてしまい、皆悔しがっていました。私は悔しい反面、部員が十五人集まって、試合をして、勝って喜んだり、負けて悔しがったりすることを嬉しく思いました。近畿予選も終わって、今は部員同士もマネージャーも更に仲が良くなりました。練習の雰囲気も良く、楽しく頑張っています。次はまた秋に大会があるので、それに向けて部員もマネージャーも渡辺先生について頑張っていきたいです。

陸上部

マネージャー 松本 美香

現在陸上部は男子十九人、女子九人、マネージャー五人で、毎日グラウンドで活動しています。顧問の先生の指導のもと、短距離・長距離に分かれて日々練習を積んでいます。個人競技である陸上は、常に自分との戦いです。厳しい練習を乗り越えて、自分に磨きをかけ、地区予選・府大会に臨みます。シーズンオフになった短距離は、春季大会にむけて筋力トレーニングに励んでいます。怪我の治療や、休養を取るなど、シーズンにむけてベストなコンディションで走れるように体調を整えています。

長距離は駅伝にむけ、夏に比べると長い距離の練習が多くなりました。一月の初めにあった大泉駅伝では、女子は

二十二位という成績を収めました。男子は二月初旬に行われる市長杯駅伝で、昨年の優勝に続き二連覇を狙います。

先輩・後輩、男女の仲も良く、合宿や新入生歓迎会など、部員全員が楽しく過ごせるクラブです。近畿大会を目標に、これからも頑張っていきたいと思っています。

男子バレーボール部

顧問 田中 聡

本年は、創立七十周年という一つの節目の年にあたり、それを記念して男子バレーボール部に関してつたない文章ですが、少し書かせていただきます。

私は現在、本校に赴任して二年、男子バレーボール部の主顧問をさせていただいております。自分が中学・高校・大学と十年間バレーボールをしてきた事もあり、これも「縁」だと思っています。

「桜塚高校男子バレーボール部」といえば、過去に数々の輝かしい実績を残し、栄誉を受けてきました。その証しに現在本校正面玄関を入って左側にあるショールケースには、歴代の諸先輩方の獲得したトロフィーや賞状、盾、近畿大会出場写真パネルや府立高大会優勝記念ボール等が飾られ、あたかもその一角は男子バレー部専用の様に見えます。先日、その一つ一つをあらためて見てみました。当時顧問をされていた中井先生、工藤先生、古川先生、古橋先生となつかしい名前が並び、一昨年までコーチとしてお世話になっていた伊藤先生は現役選手の姿でパネルの中にありました。マネージャーの方々を含め、本当に数多くのOBの皆様から様々なものを受け継いで「今」

があるのだと実感しました。

以前、日本では「東洋の魔女」でバレーボールはブームとなり、男子がミューン五輪で金メダルを獲得等、バレーボール全盛期がありました。それから三十数年、時代は流れ、バレーボール自体の人氣が衰退し、特に男子に関しては各高校で次々と部員不足となり、チーム数が半減しました。中学においても現在、豊中市内で男子バレー部が活動しているのは二校と聞いた事があります。

その様な状況の中、今も本校男子バレー部は部員十名、マネージャー四名で地道に練習を続けております。もちろん大半の部員が高校入学から始めた初心者で、以前の桜塚男子バレー部とは技術的にも雰囲気もずいぶん変わったでしょうが、それでも今も二部リーグに在籍し、先日行われた「春高バレー予選」では一部リーグのチームにストリート勝ちをおさめ、実力以上の結果が出ています。この「実力以上」というのがもしかすると「伝統」というものかもしれません。

たとえ時代や人が変わろうとも、脈々と引き継がれていく桜塚男子バレー部の伝統は今後もその存在感を後輩達によって示されることでしょう。またいつか機会があれば、是非一度、試合もしくは練習を見に来て下さい。現役部員達が不器用ながらも精一杯今日もボールを追っています。

女子バレーボール部

顧問 津田 康裕

部員数はたったの十名。退部者が続出している十名ではない。心して入部してきたのがこの人数。だから、一人ひとりが濃い。

とりが濃い。

中学時代の実績は全くなく、際立った運動能力も持ち合わせていない。身長の高い子がコートに多くいる訳でもない。その代わり、自分たちで成長していく過程を大切にしている。悲しいことに、結果が出るまでに時間がかるが、最後の公式戦である近畿大会予選では毎年好成績を残す。

秋の部別大会は一勝もできずに、三部に降格してしまった。あらゆる面で発展途上であつたので仕方ない。しかし、彼女たちの積み重ねが発揮され、この一月の練習試合では勢いのあるバレーができるようになった。今後、さらなる成長を続けて、本年度も、六月の近畿予選で納得のいくプレーができるのではないかと思う。

男子バスケットボール部

主将 柏原 寛彰

僕は桜塚高校に入学する前から、バスケットボール部に入ろうと決心していました。小学生の頃からやっていたので、迷うことなくそう決めていました。入学してからは、一年生らしく、声出しやモップ掛けの毎日。練習試合や公式戦の日の荷物持ちがいやに懐かしく思い出されます。夏休みも、蒸し風呂状態の体育館の中で、ほとんど休みなく練習しました。辛い練習でした。でも僕たちは、辛い練習を少しでも楽しいものに変えようと、声を出し、励まし合って乗り越えていきました。そうしているうちに夏も終わり、多くの試合をこなし、先輩達が引退し、自分たちの代になりました。キャプテンになったものの、みんなを引っ張っていく自信もなく、不安の毎日でした。

売買・賃貸借の仲介

大阪府宅地建物取引業協会 会員 大阪府知事免許 (4) 第40754号

土地・家・マンション・ビル・店舗・事務所・倉庫・工場

〈近 畿 全 域〉

まずお電話下さい

荒清不動産株式会社

代表取締役 野口 芳男 (桜塚高11期) S34年卒

〒560-0011 豊中市上野西1丁目13番12号 (豊中高校前)

06-6849-2103

早 よ 来 る 不 動 産

明日の色をつくる

カラー 色彩株式会社

〒532-0032 大阪市淀川区三津屋北2-15-7 TEL (06) 6308-1212

〒171-0052 東京都豊島区南長崎6-1-3 TEL (03) 3953-6161

ゴールデンを知った私は、 もう は使えない。

★ 新・アクリル 絵 具
for Artist
GOLDEN
A C R Y L I C S
ゴールデンアクリリックス

右も、左も、
おなじ色ではもの足りない。
新・個性色。
ゴールデンアクリリックス
ひとりで作り出す個性を、おなじ絵
具で表現しきれないだろうか、もった
描きたいものがある。もった、造りた
いものがある。となりにおなじ絵具
ではもの足りないあなたの創造力に、
新・アクリル絵具「ゴールデンアクリ
リックス」。

色の伸び、発色の良さ、そして多彩な
メディウム群がアメリカのアートス
ト達から絶賛を浴びた名品です。

◆ 20 ml 60 ml 150 ml 全 98 色
◆ マイクム全 35 種

僕たちのチームはお世辞にも強いとは言えない弱小チームでした。先輩達の代とは違って、試合にも負けてばかりで、コーチや顧問の先生、いつも世話をしてくれるマネージャーには本当に申し訳なく思いました。なんとかチームを一つにまとめ、最後の大会には勝ちたいと思いました。その一つとして恒例の合宿を成功させようと考えました。合宿を乗り越えた僕たちは、自信をつけ、最後の戦いに挑みました。

スポーツというのはどのスポーツであっても、相手に「いける」と思わせてはいけないというのが鉄則です。しかしバスケットほどそれが露骨に出るスポーツはないでしょう。結局僕たちはその鉄則が守れず、奮闘空しく敗れてしまいました。とうとう一度も勝利を味わうことなく終わりました。けれども、最後まで充実した部活動をすることができたのは、ついてきてくれ、支えてくれる仲間がいたからこそだと思います。

こうして嵐のような三年間は過ぎていき、今となつては笑い話になってしまったものもたくさんあります。漫画では人気のあるバスケットですが、実際にやるのは本当にしんどいスポーツなのです。その頂点にいるNBA選手に憧れ、僕は今もクラブチームに入つて、下手なりにバスケットを楽しんでいます。もちろん、大学に入学してからも続けたいと考えています。本当に楽しい三年間でした。

バドミントン部

顧問 藤森 正義

私が顧問になってから約十年が経過しました。顧問といっても、実際には

部員を指導できません。その最大の理由は自分自身が学校生活（大学も含めて）で、一度もバドミントンのラケットさえさわったことがなかったことにつきます。ただ、一時民間企業にいたとき、会社が終わった後のサークル活動で同僚社員らとバドミントンをしたことがあります。私自身は、こんなことを言ったら響（ひびく）を買（か）うかもしれないが、正月の「羽根つき」（今はそういう光景はほとんど見かけませんが）の延長ぐらいに考えていました。ところが、上手な先輩社員とシャトルを打ち合うと、足が思うように動いてくれず、初めて、「これって相当キツイスポーツだ」とあらためて知りました。また、顧問になつてわかった大きな驚きは、夏の暑い時期でも、少しでも風の影響をさけるため、窓やドアを閉めて行うスポーツだということ。これは正直、サウナの中でのバドミントンと実感しました。

さて、現在部員は女子十四名、男子八名で、平日は月曜と火曜が体育館。他の平日は、外で外周を走ったり、筋トレをしたりして活動を行っています。また、土日祝の休みの日もほとんど活動日になつていて、他の部と時間を分け合つて、体育館での練習を行っています。毎年夏休み初めに、三泊四日で合宿を行っています。

最近の戦績では吉岡昌美さん（五十九期）が、二〇〇六年度全国高校総体大阪府予選会（Ⅱ部、女子シングルス）で準優勝を果たしました。これは大変素晴らしい記録です。これは、本人の素質や実力に加えて、来ていただいた中原卓朗コーチの熱心な指導のたまものと思っています。本校は定時制

併設の学校で、他のクラブもそうですが、練習は五時まで（月曜は七時間目もあるため、六時前まで）しか練習できません。また、クラブ数も多いため、特に体育館での練習時間はどうしても短いです。この短い時間を集中的に利用し、大会でより良い成績を残すため、強くなろうと一人ひとりががんばっている、これが現在のバドミントン部の姿です。

サッカー部

顧問 望月 浩平・森本 雅弘
主将 河本 大輝

現在サッカー部は、一年生十四人、二年生十二人、マネージャー三人の合計二十九人で活動を行っています。過去には近畿大会出場という戦績を残したこともありましたが、現在は戦績の面では低迷しています。しかし毎日の活動では限られた時間、定められた場所の中、いかに効率の良い練習が出来るかを考え、部員一人ひとりが高い集中力を持つて練習に参加することをチームの約束とし、練習内容も週毎にテーマを設け充実した活動を行っています。

また、最近中学校まででサッカーの実戦経験の少ない部員も多く、経験を積む為練習試合を積極的にに行っています。昨年度も年間六十五試合行い、十一勝四十一敗十三分という悔しい結果に終わりましたが、多くの課題をみつけると共にチームとしてのレベルアップを確認することが出来ました。

そういった積み重ねの結果、昨年度のチームは選手権大阪府予選において四回戦進出という戦績を残し「強い桜塚」のきっかけを作れたのではと考えています。今後も努力を重ね、プレー

の面でも一高校生としての面でもレベルアップし、優れた結果を残し卒業されていった先輩達に追いついていこうと思っています。

女子ハンドボール部

主将 中山 智絵

私たち女子ハンドボール部員の自慢の品々を紹介させていただきます。

まず第一の自慢は五十五期生の先輩たちがデザインして製作したオリジナルのハンドボールバッグで、白地に赤でボールの絵と学校名が鮮やかに描かれています。このバッグを肩に商店街を歩いたり電車に乗っていると、結構注目されて「私も桜塚の卒業生ですよ」と声をかけられたりします。先日など、ボールの絵を見間違えて、「桜塚には女子サッカー部もあるのか」と言われましたが、とにかく、何でも入って丈夫で長持ち。エナメル製で防水も完全なので雨の日の自転車通学にも便利なスグレものなのです。

自慢の第二は私たち六十期生がデザ

インしたオリジナルTシャツです。昨年の夏、大阪でインターハイが開催され、それを記念して作ったものです。大きなピンクのハートマークに重ねて「WE LOVE HAND」と文字が入っています。注文後、業者の方から「BAL」が抜けているけど、これでいいですか？と聞かれました。いいんです。私たちは「手」は愛しています。ボールはあまり好きではありません。ドッチボールは大好きですが。

第三の自慢は「ハンドボール」と染め抜いた大きな「のぼり」です。これはアテネ・オリンピックのアジア予選が神戸で開催された時、会場の体育館周辺に立てられていたもので、赤・緑・青の三色あります。これがなぜ今、私たちの部室にあるのか、その秘密は当時の顧問の先生だけが知っています。

私たちは四月初めのクラブ紹介で、この「のぼり」を振り回しながら新入生を勧誘します。もちろん、ハートTシャツを着てバッグも背負っています。

効果はてきめん、入部して来た新入生に入部の理由をたずねると「バッグがカッコ良かった」「ハートTシャツ



が可愛かった」などと運動クラブとしては不純な動機でいっぱいです。

その他にも「買い物カート型ボール入れ」や「機内持ち込みバッグ型救急箱」など自慢したい品々は色々ありますが、もうきりがないのでやめておきます。

最初に紹介したハンドボールバッグには、Since 1944と書いてあります。女子ハンドボール部は戦中の豊中高女時代の昭和十九年から連綿と六十年以上続いて来たことになりました。この伝統を築いて来られた素晴らしい先輩方と、それを継承して行く可愛い後輩たちこそが、私たちの何よりの自慢と言えるでしょう。

体操部

部長 溝口 直

僕ら体操部は男子六名女子二名と少ないですが、みなが日々技術の向上のためお互い励ましあいながら頑張っている練習しています。専門的に体操を教えていただける先生はいないのですが、週末には技術指導のコーチが来てくれたり、OBやOGの先輩方も来てくれるので、試合で少しずつ成果が出てきました。それに最近では少ない部員を補うため、又、皆の技術向上のため他の高等学校の体操部とともに合同練習をしたり、春休みには滋賀県にある体操専門の施設を借りて合宿をすることになりました。これを生かす為には部員全員が一丸となって、日々の活動に取り組んでいかなければいけないと思っています。

今度三年生になる僕らにとって今年が最後の年です。これからは一日一日を無駄に過ごさないように、楽しくも

真剣なクラブ活動をしていきたいと思っています。

ダンス部

主将 三好 瑛子

私たちダンス部はいつも小体育館と渡り廊下で練習をしています。

主な活動は学校行事での発表です。体育祭でも踊らせてもらい、文化祭ではたくさんの方が見に来て下さるので緊張しますが、とても嬉しく思います。そして三年生の引退の日でもあります。去年は初めて学校見学会でも発表をさせてもらいました。

他校との大会では、これからの活動にとっても参考になります。

毎年発表の場が増えてきているので、練習も大変になるけれど、ダンスで大切なのは笑顔なので、楽しく踊ることを一番にがんばっていききたいと思っています。

音楽部

顧問 河村 光子

昨年の文化祭では四名の部員で、朗読とコーラスによる「白鳥の湖」を発表し、少人数ながらがんばっているという好評を頂きました。ここで三年生が引退し一年生二名で活動しています。

一月末のヴォーカルアンサンブルコンテストに向けて、基礎作りからやっています。大合唱ができれば良いなという気持ちもありますが、今のメンバーでこそできる音楽をめざしたいと思っています。

声というのは、一番身近な楽器ですが、なかなか奥の深いものです。人間の声の持つ魅力のひとつでも多くひきだすことができればと励んでいます。

今の子供達は、情報は多いし、楽しいこともいろいろあるので、合唱なんかあまりやらないのではと言われるかもしれませんが、桜塚の生徒達は合唱コンクールでもわかるように歌うことの好きな人が多いです。自分の内側からあふれるものを声にのせ、皆と合わせる楽しさは何ともいえないものです。音楽部もまだ未熟ですが、少しでも良い音楽に近づけるようがんばります。

吹奏楽部

部長 吉原 望

現在、桜塚高校吹奏楽部は二年生二十一人一年生二十五人で活動しています。昨年度の定期演奏会以降、このメンバーでの活動がはじまりました。

「響け桜吹 一音入魂」「100%の努力に120%の本番を」「奏思奏愛」「みんなで一つの楽器を創る」「今日の自分に満足しない」という、この五つの目標をにかけて毎日練習に励んでいます。

夏のコンクールでは、意見の対立や、暑い中での練習などいろいろな壁を乗り越え、一人ひとりが成長する事ができました。なによりも、他の学校と違い、学生指揮で自分達の音楽を創っていく、という苦労が多かったです。約四カ月間の思いを十二分間の演奏に託し、このメンバーで銀賞を取れた事は、一生の思い出になりました。

コンクール後も演奏会に出演し、より団結力が深まってきました。そして十二月のアンサンブルコンテストでは、打楽器五重奏が金賞をとり、技術的にも進歩出来ました。

これからは、五月三日にある「第十八回定期演奏会」に向けての練習が始

まります。今の二年生にとっては最後の舞台になります。後悔のないよう、聴いてくださる方々、そして自分達自身が感動できる本番にするためにも、一日一日の練習を大切にして、四十五人でがんばりたいと思います。

軽音楽部

部長 大日野成利

僕たちにとって一番大きな行事は八月のスニーカーエイジでした。これは近畿の百以上の軽音楽系クラブが演奏を競い合う大会です。

まず二年生から希望者を募って九名のバンドを組み、各パートごとに三年生の先輩の指導を受けながら練習に励みました。衣装の相談やプラカードの作成にも時間がかかり、他の部員にも協力してもらいました。

八月十四日本番、先輩・後輩らの応援を受け大きな舞台で最高の演奏ができました。結局賞は取れませんでした。が、部員全員が一つの目標に向かって一丸となって頑張ることができ、貴重な経験となりました。

美術部

部長 吉村 千秋

美術部は文化部にしては珍しい、毎日活動している部活です。一学年に二人から三人程度の少人数な部活ですが、その活動はとても活発です。

春の仮入部期間は、主にクロッキーを行います。新たな部員を迎えたところで、夏の高校展への作品制作に入ります。絵画は主に油絵を制作し、大きなもので葉書百枚分の大きさの絵を描きます。デザインはB1とサイズが決まっています。最初の構想が肝心で



KONISHI HOSPITAL
SINCE 1961

医療法人 藏春堂

小西病院

救急・労災指定 (37床)

●診療科目●
外科・整形外科・内科・胃腸科・形成外科・皮膚科・放射線科・リハビリテーション科
〈通所リハビリテーション(デイケア)・ケアプランセンター・訪問リハビリ併設〉

名誉院長 小西 眞倫
小西 満子 (高校2期)

〒561-0802 豊中市曽根東町2-9-14 (176号線沿い 城山町バス停すぐ)
TEL 06-6862-1701 FAX 06-6864-2220

ご宿泊、ご宴会、ご婚礼、レストランのご利用すべてのシーンに、ぬくもりを感じていただける、それが（ホテル・アイボリー）です。

あなただけのプライベートホテルとお呼びください。

ホテルアイボリー

〒560-0021 大阪府豊中市本町3丁目1番16号
TEL.大阪 (06) 6849-1111 (代) FAX. (06) 6849-7727
URL: <http://www.hotel-ivory.co.jp/>

す。他にも出品したいと思えば版画、工芸、立体など、先生にアドバイスをいただきながら製作します。

夏は高校展の前に合宿です。ここ二、三年は刀根山の美術部との合同合宿で、長野県へ行きました。部員間の親睦を深めると共に、当然作品も制作します。そしていよいよ、夏の高校展です。自分達で展示し、多くの作品のうちのひとつとなった自分の絵は、今までと全く違うものに見えます。他校の作品を観て、その中で自分の絵がどう観えるか、その刺激を生かし、より良い作品が出来るのです。

高校展が終わると、休む間もなく、文化祭で販売するポストカードの製作です。部員一人ひとりがデザインし、一枚一枚刷ったものです。おかげ様で毎年たくさんの方々に喜んでいただいています。

文化祭の後は芸文祭です。この芸文祭は高校展と違って審査があり、入選しないと展示してもらえません。しかし桜塚の美術部は、夏も冬も最低一点は必ず入賞、又は入選しています。先輩から後輩へと受け継がれてきたこの輝かしい歴史は、これからも続いて欲しいと切に願います。

芸文祭が終わると第一学区展への作品を出品します。そうして又新たな一年が始まるのです。

桜塚の美術部の良いところは、その活動の活発さもそうですが、何より良いところは、その仲の良さだと思えます。放課後の美術室は笑い声が絶えません。これからも、桜塚の美術部に入って良かったと思う部員が楽しく活動できる部活であって欲しいと思います。

桜塚高校創立70周年記念式典・祝賀会のお知らせ

日 時 平成19年11月18日 (日)
会 場 豊中市民会館
○第1部 記念式典 13:00~13:45
○第2部 記念行事 13:55~15:00
○祝賀会 15:40~17:40

祝賀会会費 5,000円 (当日受付にてお支払下さい)

卒業生より「思い出ボックス」への投稿募集中!!

このたび、母校大阪府立桜塚高等学校がめでたく創立70周年を迎える運びとなりました。

現在、母校70周年の記念といたしまして、70周年記念誌を制作中でございます。

今回この記念誌の企画としまして、母校の70歳の古稀のお祝いを一人でも多くの同窓生様に知って頂き、また、一人でも多くご参加いただきたく、みなさまの母校にまつわる思い出・エピソード等を幅広く募集させて頂くことになりました。特に高女4期(S20年卒)~高女7期(S23年卒)の会員の寄稿を歓迎いたします。

つきましては、本校ホームページに「思い出ボックス」をもうけさせて頂きましたので、ふるって原稿をお寄せ下さい。郵送も可。(平成19年7月20日〆切)

桜塚高校ホームページアドレス www.osaka-c.ed.jp/sakurazuka

桜塚高校の歴史

昭和12年 (1937年)	1月22日	大阪市東成区に「大阪府立第十四高等女学校」を設置。
3月		豊中市立克明第一小学校にて入学願書受付。
3月31日		大阪府立生野高等女学校内に仮校舎を設ける。
4月8日		始業式を挙行(5学級)。
4月15日		現在の地の敷地買収完了。
昭和13年 (1938年)	3月31日	学校の位置を豊中市に変更。第1期工事竣工。
4月1日		「大阪府立豊中高等女学校」と改称。
4月6日		仮校舎より本校舎に移転。
昭和14年 (1939年)	9月10日	第2期工事竣工。
昭和15年 (1940年)	9月27日	豊中市北桜塚3丁目10番2号の敷地を良本敬太郎氏より寄付を受け、生徒の農業実習地とする。
昭和16年 (1941年)	4月	新入学の5期生より学級数が6となる。
5月22日		校舎落成式を挙行。この日を創立記念日と定める。
昭和17年 (1942年)	3月	第1期生卒業。同窓会として「尚和会」を設立。
昭和19年 (1944年)		2年生以上の生徒は次々に軍需工場へ勤労学徒として出勤。
昭和20年 (1945年)	6月	7日、15日、26日の空襲により、動員中の生徒7名死亡。負傷者約10名。
昭和22年 (1947年)	5月22日	創立10周年記念式典挙行
昭和23年 (1948年)	4月1日	学制改革により、「大阪府立桜塚高等学校」と改称。
19日		男女共学実施に伴い、旧制府立豊中中学、府立池田中学、府立豊中高女、豊中市立高女の4校で職員・生徒の交流が行われ、この日入学式を挙行。
昭和24年 (1949年)	4月1日	定時制課程庄内分校及び止々呂美分校設置。
昭和25年 (1950年)	3月31日	止々呂美分校廃止。
4月10日		定時制課程吉川分校設置。
昭和26年 (1951年)	4月	新入学の6期生より学級数9となる。
6月16日		定時制自治会発会式。
9月30日		図書館拡張。
昭和27年 (1952年)	3月31日	運動場拡張。
昭和28年 (1953年)	1月	校歌制定。
4月27日		修学旅行中、阿蘇山の噴火により、6期生男子1名死亡。
8月		尚和会会則制定。
8月3日		プール新設。プール開き挙行。
昭和29年 (1954年)	3月31日	定時制課程吉川分校廃止。
昭和31年 (1956年)	3月31日	定時制課程庄内分校及び萱野分校廃止。
4月		豊桜戦(豊中高校、桜塚高校の親善試合) 始まる(昭和43年まで)。
昭和32年 (1957年)	11月2日	創立20周年記念式典挙行。
昭和33年 (1958年)	4月1日	教頭任命制となる。

[illegible]

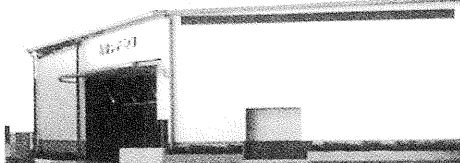
新聞折込広告の1から10まで。消費者への最も身近な情報伝達方法



地域密着から全国ネットまで
近畿一円の配送
企画・制作・印刷・デリバリー(配布)

株式会社 アド・エス

〒572-0042 寝屋川市石津南町8-8
TEL072-828-3141 FAX072-828-3221
HP <http://www.adcen.co.jp/>



代表取締役 岩津 行 (11期 昭和34年卒)

平成7年（1995年）	4月1日	尚和会の初めての支部として「東京支部」が設立される。
1月17日	11月15日	創立60周年記念式典挙行政。記念誌とともに校歌・応援歌等のCD作成。
阪神淡路大震災により、本校校舎・体育館に少なからず被害が出る。		
北館4F天井内給水館破損、ガラス多数破損、体育館屋根破損、化学準備室の薬品倉庫内の薬品漏洩、図書室書架転倒、北側レンガ塀の倒壊など。	平成13年（2001年）	9月 学校情報ネットワーク開始。
生徒および教職員の自宅にも全壊・半壊等の被害あり。	平成14年（2002年）	2月 断郊レース廃止。
2月 服部緑地公園で行われていた断郊レースを万博記念公園で実施。	4月	生徒数減に伴い、全日制1学級減募（8学級）。
4月 生徒激減に伴い、全日制1学級減募（10学級）。	4月	学校週5日制となる。
7月～8月 校舎壁面および体育館屋根の補修工事。体育館2階の使用中止。	12月	56期生が2年次に初の海外修学旅行を実施（シンガポール）。
平成8年（1996年）	平成16年（2004年）	6月 全クラスにエアコン設置・始動。
1月8日 全日制の制服の下に着用するカットシャツ・ブラウスを自由化する。	平成17年（2005年）	4月 生徒数減に伴い、全日制1学級減募（7学級）。
11月6日 青年招へい事業として、アフリカ青年教員（18カ国28名）、アセアン青年教員（6カ国18名）が来校、学校視察を行った。	4月	定時制が普通科単位制の2学期制となる。
12月 東館2階にコンピュータ室を新設し、LANシステムコンピュータが20台設置される。	12月24日	2学期終業式が大雪で遅れる。
平成9年（1997年）	平成18年（2006年）	4月 全日制課程1学級増募（8学級となる）。
4月 生徒数減に伴い、全日制1学級減募（9学級）。	11月	60期生が2年次にオーストラリアへ修学旅行。

桜塚高校創立70周年記念誌発行のお知らせ

● 創立70周年記念誌 (100ページ程度)

主な記事：70年のあゆみ 豊中高等女学校から現在まで
全日制この10年／定時制この10年
自治会活動、文化祭、体育祭、部活動
卒業生のお祝いメッセージ など

会員のみなさまから「お祝いメッセージ」を募集し、掲載したいと思います。学校のホームページから、または

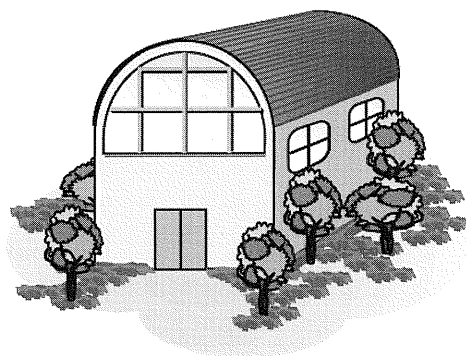
〒561-0881 豊中市中桜塚4-1-1 桜塚高校

桜塚高校創立70周年記念事業実行委員会 記念誌委員会

まで郵送下さい。(平成19年7月20日〆切)

申し訳ありませんが、紙面の都合もございますので、ごく短い文でお願いします。掲載する場合はご連絡いたしますので、電話もしくは電子メールアドレス等の連絡先は必ずお書き下さい。お送り頂いた文、写真等はお返却致しかねますので、ご了承下さい。

●発行予定日：平成19年11月18日(本校創立記念式典当日)



平成19年
(2007年)

4月

大阪府の学区が改編され、9学区が4学区制となる(桜塚高校は旧1学区と旧2学区が統合した、新1学区)。

11月18日

創立70周年記念式典挙行政。

布でつくる野菜のご紹介

白布を染め、綿、ワイヤーを芯にして
木工用ボンドで組立てる布野菜は
新しいクラフトです

布野菜作家

高6期 阪 口 弘 子 (旧小林)

URL <http://www.nuno-yasai.com> E.mail hiroko@nuno-yasai.com



北摂葬祭サービスセンター 株式会社 加 納 代表取締役 上村 学 (高17期)
豊中市中桜塚2丁目12番2号 TEL(06)6853-6171 <http://www.kk-kanou.jp/>

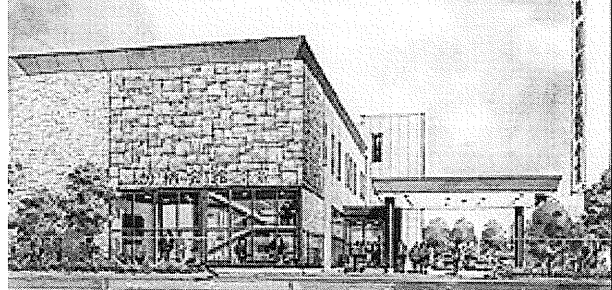
加納レリーフクラブ会員募集中

特
典

1. 葬祭基本料金の10%を割引
 2. 加納会館の使用料を50%割引
 3. 献花一基サービス
 4. 加納会場で当日初七日法要をされる場合、祭壇料・室料の無料サービス
 5. 講習会・イベントへの無料ご招待
 6. 仏壇・仏具・墓石のご紹介(割引もごさいます)飲食店ほか提携店での割引
 7. 生前予約や葬儀の事前相談が、無料で受けられます
 8. 公認会計士・税理士・社会保険労務士などのご紹介(ご相談内容によっては、有料の場合もございます)
- 入会費のみ 年会費の月々の掛け金は一切かかりません



☎ 0120-096-940



葬祭式場 加納会館 今宮
箕面市今宮3丁目2番13号 TEL(072)727-0729

尚和会通信

広報担当副会長 大島 光昭

一、尚和会会報有料制について

今、お読みの尚和会会報は有料制です。年間千円（同封の払込用紙にてお振込み下さい）払込用紙紛失の方は郵便口座番号00930331860加入者名「尚和会」宛お願いします。（本年度は七十周年記念号として、住所判明者全員に送付しました）
会報發送者・会報千円及び協力納入者に限り翌年発行の会報を送付いたします。

二、尚和会会報の無料配布

その期が、卒業後五年経過ごとに、住所判明者を対象として全員に送付します。また、卒業後五年間は全員に送付します。

三、「同期会開催支援奨励助成金制度」

・助成金交付対象期

尚和会会員が同期会を計画、開催実施しようとするもので、その同期会が卒業五周年以降五周年単位で開催される期であること。なお、卒業後最初の同期会は右記の周年でなくても助成金を交付する。

・助成金の額

五〇、〇〇〇円とする。

・申請の手続き

開催する同期会の代表幹事が書面（同期会助成金交付申請書）にて、尚和会会長宛に同期会開催一ヶ月前迄に提出又は郵送する。

・助成金の交付

「同期会助成金交付申請書」受理後速やかに同期会開催迄に支払う。
なお、同期会に対する助成は同じ期

が同じ周年時期に複数の場所で開催されても、尚和会からの助成金交付は、その期に対して一回限りです。また、クラス単位での開催も対象外です。

四、在校生クラブ活動に報奨金制度

クラブ活動に顕著な成績を残したクラブに、活動費の一部を助成する制度です。助成対象は府下大会にて優勝またはそれに準ずるものとします。
在校生諸君の活発な活動を期待します。

平成19年度 評議員会及び理事会予定表

理事会

第1回 H19年4月28日(土) 尚和会議室
第2回 9月1日(土) 会費制 会場未定
第3回 11月10日(土) 尚和会議室
第4回 H20年1月20日(日) 新年理事会
会費制 会場未定
第5回 3月29日(土) 尚和会議室

評議員会

第1回 H19年9月1日(土)
会費制 会場未定
第2回 H20年1月20日(日)
新年評議員会
会費制 会場未定
第3回 H20年3月29日(土)
尚和会議室

各 期 連 絡 先

期	氏 名	電 話	期	氏 名	電 話	期	氏 名	電 話	期	氏 名	電 話
女1	越 水 ユ リ	06-6852-8755	高23	後 藤 保 二	06-6373-7380	高55	高 寄 崇	06-6852-1288	定34	清 水 美 佳	072-761-3323
女2	北 川 富美子	0798-74-3024	高24	梅 田 純 子	06-6329-6309	高56	亀 井 み え	06-6393-1017	定35	武 藤 直 美	06-6843-5357
女3	菅 野 万喜恵	06-6852-0020	高25	小 合 孝 子	06-6855-3604	高57	古 川 啓 太	06-6333-3572	定37	渡 部 二 郎	
女4	永 井 徳 子	06-6942-1968	高26	松 田 俊 一	06-6841-1049	高58	高 田 俊 輔	072-753-3164	定38	中 村 保	
女5	加 藤 恵 美	06-6872-6248	高27	戸 田 緑	06-6875-7718	高59	長 尾 優 佑	06-6336-5937	定39	森 本 真裕美	06-6849-7859
女6	青 木 操 子	06-6843-2552	高28	市 田 隆 士	0595-52-0715	定1	吉 本 喜代子	072-722-2075	定41	奥 田 康 弘	06-6388-7339
女7	黒 田 長 子	06-6854-5432	高29	山 澤 健 二	06-6399-7677	定3	永 井 博 純	072-759-2971	定42	前 川 良 司	072-722-5896
女8	中 村 陽 子	06-6844-1570	高30	木 村 慶 子	06-6853-9213	定5	橋 本 昌 員	072-793-7650	定43	山 田 辰 典	06-6333-1785
高1	安 達 良 子	072-721-3901	高31	佐 藤 稚加子	0797-87-8357	定6	中 川 豊	06-6349-8965	定44	大 塚 俊 二	072-762-7873
高2	北 野 敦 子	0797-88-2676	高32	池 田 紀 和	06-6332-3324	定7	川 勝 義 美	06-6854-4997	定45	青 木 宏	06-6332-5370
高3	谷 田 探 成	06-6314-0550	高34	中 谷 和 宏	090-8981-6239	定8	田 邊 昭 夫	06-6843-0952	定46	岡 田 智 寛	06-6333-5996
高4	中 右 吉 信	06-6855-5372	高35	川 嶋 道 代	072-729-6099	定9	中 本 賢 一	06-6854-2078	定48	野 口 光 弘	
高5	宮 口 一 郎	06-6852-4859	高36	安 藤 昌 博	06-6832-7930	定11	永 井 敏 輝	06-6852-0333	定49	大 鳥 正 登	072-761-1036
高6	北 まち子	06-6865-3131	高37	高 崎 建 治	06-6623-6801	定12	笹 部 修 造	06-6852-0475	定50	福 永 敦 哉	06-6862-7542
高7	関 高 明	0797-88-5603	高39	須 崎 康 広	072-752-6441	定13	中 岸 澄 江	06-6843-5737	定51	徳 留 三 香	06-6866-6994
高8	森 田 司 朗	06-6872-3329	高40	堂 前 直 子	06-6336-7265	定14	杉 本 土 生	072-728-1497	定52	本 郷 美由紀	06-6841-0860
高9	安 浦 杲	072-737-0068	高41	坂 口 大 介	06-6303-4831	定16	森 島 作 蔵	06-6857-6219	定53	山 下 武 徳	06-6857-3239
高10	唐 渡 吉 則	072-752-4548	高42	鷹 谷 み こ	06-6371-6777	定17	前 田 政 治	06-6855-8451	定54	山 本 雄 助	072-724-2347
高11	吉 田 和 久	06-6857-0352	高43	横 尾 さち子	06-6854-0026	定18	中 島 健 二	072-722-8153	定55	高 橋 秀 彰	06-6852-4438
高12	斎 藤 嘉 明	072-738-4647	高44	河 野 太	06-6476-1102	定19	飯 田 悦 弘	06-6855-3440	定56	越 智 康 裕	06-6868-2275
高13	細 川 和 彦	06-6849-6879	高45	米 本 牧 子	06-6834-1031	定21	堀 健 次	06-6878-5694	定57	石 村 真 実	080-3113-0635
高14	佐 藤 勝 哉	06-6854-0095	高46	榎 本 誉 士	06-6841-8531	定22	西 田 惣 一		修1	矢 野 和 美	
高15	大 島 光 昭	06-6841-8135	高47	三 谷 真 一	06-6332-3499	定23	豊 隆 司		修2	能 勢 優 紀	06-6841-2919
高16	中 務 公 子	06-6858-4509	高48	新 造 誠	072-722-5963	定24	日紫喜 富 美		修3	島 山 貴 徳	072-728-1150
高17	福 本 育 馬	06-6333-6636	高49	初 村 康 友	06-6393-9870	定25	大 町 裕 次	06-6862-7083	修4	竹 田 大 河	06-6841-4820
高18	北 川 悟 司	06-6843-1336	高50	橋 本 直 樹	072-751-3235	定27	稲 井 幸 雄	072-728-0955	修5	三 島 祐 貴	072-722-7482
高19	志 賀 順 子	06-6852-0968	高51	伊 藤 健一郎	072-724-1872	定28	真 下 保	06-6385-6190	修6	野 口 雄 樹	06-6843-7595
高20	郡 守 男	079-565-2627	高52	山 脇 竜 介	06-6473-9607	定29	寒 川 悟	06-6607-0580	修7	田 中 一	06-6833-6671
高21	山 本 登志恵	06-6924-3544	高53	宮 崎 浩	072-761-9583	定30	大涯池 みゆき		※全員発送のため連絡先を理事に変更した期があります。		
高22	杉 山 茂	06-6841-4119	高54	田 上 奈 緒	072-739-3577	定32	市 村 孝 浩				

尚和会 平成18年度決算報告・19年度予算

[収支決算]

(自:平成18年4月1日 至:平成19年1月31日)

(単位:円)

(注) 70周年記念事業開催(19年5月20日)の関係で、18年度の決算締切日を変更している。

	科 目	予 算	決 算	差引過不足	備 考	19年度予算
収入の部	入 会 金	1,460,000	1,460,000	0	19年3期卒365名(全日 317名、定時 48名) @4,000円	1,412,000
	会 報 代	1,700,000	2,038,000	338,000	2,038名	2,500,000
	尚 和 会 協 力 金	2,000,000	2,980,830	980,830	1,305件	3,500,000
	広 告 収 入	40,000	30,000	▲10,000	1件(株廣済堂)	600,000
	利 息 収 入	12,000	112,498	100,498		50,000
	雑 収 入	0	740	740	コピー代	600,000
	計	5,212,000	6,622,068	1,410,068		8,662,000
支出の部	事 務 費	100,000	104,902	▲4,902	事務用品、会員名簿管理費	100,000
	備 品・雑 品 代	50,000	3,514	46,486	雑巾、スポンジ他	50,000
	通 信・交 通 費	350,000	271,618	78,382	ハガキ(印刷、宛名シール含む)等、東京支部参加交通費	400,000
	会 合 費	350,000	369,754	▲19,754	理事会・評議員会及び各委員会合費	370,000
	会 報 発 行 費	2,200,000	2,051,758	148,242	11,000部、発送代8,474件、他	5,500,000
	総 会 費	700,000	663,006	36,994	食事、アトラクション、他	1,500,000
	東京支部援助金	150,000	150,000	0		150,000
	同期会開催助成金	500,000	300,000	200,000	高女6、高3、8、22、24、28期	500,000
	慶 弔 費	100,000	62,575	37,425	学校行事祝儀他(内、未払計上 20,000円)	100,000
	卒業生記念品代	120,000	120,000	0	卒業証書入れ(全額、未払計上)	150,000
	現役クラブ報奨金	0	38,400	▲38,400	定時制全国大会出場(陸上・バドミントン)	50,000
	高校援助協力費	—	—	—	(学校の70周年記念事業協力費)→	3,600,000
	雑 支 出	180,000	179,840	160	内、郵便振替手数料179,210円	300,000
	予 備 費	700,000	619,500	80,500	尚和会ホームページ準備費用	500,000
	計	5,500,000	4,934,867	565,133		13,270,000
	1. 差 引 当 期 収 支	▲288,000	1,687,201	1,975,201		▲4,608,000
	2. 前 期 繰 越 金	2,014,680	2,014,680			3,701,881
	3. (1+2) 合 計	1,726,680	3,701,881			▲906,119
	4. 尚和会積立金等繰入					
	5. 尚和会積立金等取崩					
	6. 次 期 繰 越 金		3,701,881			

[貸借対照表]

(平成19年1月31日現在)

(単位:円)

借 方		貸 方	
現 金	119,110	未 払 費 用	140,000
郵 便 振 替 口 座	4,132,778	預 り 金	28,000
普 通 預 金	1,757,110	尚 和 会 積 立 金	15,000,000
定 期 預 金	14,519,456	尚和会事業積立金	11,000,000
定 額 貯 金	9,272,000	次 期 繰 越 金	3,701,881
仮払金(70周年)	69,427		
合 計	29,869,881	合 計	29,869,881

以上、報告いたします。

監査の結果、誤りの無いことを報告します。

平成19年 2月13日

平成19年 2月13日

財務担当副会長(高13期) 細川和彦
会 計(定13期) 中岸澄江
会 計(高16期) 中務公子

会計監査(高3期) 中村千穂
会計監査(高17期) 上村 学

	高女 1期~8期	併中 1期~2期	高 1期~59期	定 1期~57期	定通併修 1期~7期	旧職員	現職員	現職員 (定時制)	合計
会 員 数	2,061	229	26,652	4,277	82	711	36	19	34,067
物 故 者	391	18	689	91	0	164	0	0	1,353
住所不明者	246	33	6,392	2,158	16	199	0	0	9,044
住所判明者	1,424	178	19,571	2,028	66	348	36	19	23,670
判 明 率	88.0%	85.5%	76.0%	49.5%	80.4%	72.0%	100.0%	100.0%	73.4%

尚和会会員数

(単位:人) 平成19年1月末現在

尚和会平成19年度役員紹介



副会長
(財務担当)
高13期

細川 和彦



副会長
(総務担当)
高11期

吉田 和久



副会長

定8期

田邊 昭夫



会長

高11期

田中 渡



会計監査

高17期

上村 学



会計監査

高3期

中村千穂子



副会長
(行事担当)

高15期

上田 幸子



副会長
(広報担当)

高15期

大島 光昭



東京支部長

高11期

斎藤 良和



会計

高16期

中務 公子



会計

定13期

中岸 澄江

個人情報保護対策について

尚和会では、会の運営に必要な皆様の個人情報をお預かりしています。お預かりする個人情報は個人情報の保護に関する日本の法令その他の規範を厳守して以下の目的の範囲でのみ利用いたしますので、何卒、ご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

■利用の目的について

- ①尚和会会報の発行・発送
- ②各役員会開催案内等の告知文書の発送
- ③尚和会が会の運営を遂行するにあたり、必要とする年会費徴収
- ④その他、会の活性化を図るため、必要と思われる作業等合法的な目的のために活用する場合

■ご提供いただいた個人情報については、尚和会が責任を持って管理いたします。

■尚和会は、ご提供いただいた個人情報を正確に処理いたします。

■尚和会では、信頼に足ると判断した外部の企業に、個人情報のデータ処理ならびに発送作業を委託することがあります。

■ご提供頂いた内容は、本人の承諾なしに学校・同窓会関係者以外の第三者に開示することはありません。

ただし、以下のような場合は、例外として情報を開示できるものとします。

- ・法令の規定による場合
- ・ご本人ならびに公衆の生命、健康、財産等の重大な利益を保護するために必要な場合。

■個人情報は、原則として本人にかぎり、開示・訂正・削除を求めることができます。

お問合せ先

〒561-0881 豊中市中桜塚4-1-1

大阪府立桜塚高等学校内 尚和会事務局

TEL06-6853-2244/FAX06-6853-0825

労働大臣許可



福祉共済制度有
豊中看護婦紹介所

7期 森田昭子(S30年卒)

〒560-0024 豊中市末広町2丁目2-2 TEL.06-6852-5510 ☎0120-60-5510



ケアプラン作成・ヘルパー派遣

(有)在宅ケアサービス豊中

7期 森田昭子(昭和30年卒)

ケアマネージャー 22期 本田敦子(昭和45年卒)

〒560-0024 豊中市末広町2丁目2-2 TEL.06-6845-1315 FAX.06-6845-1306

☎0120-60-5510

同期会報告

豊中高女一期生会 満八十一歳通過記念同期会

幹事(旧姓) 安藤、田原、永井
山田、板野、樋口

「ご機嫌如何? 歳には勝てないという現実には戸惑っていらつしやいませんか? 満八十一歳通過記念の同期会に集まりましょう! きつとお互いに自分自身がとおしくなって感謝の念がふつとわいてくると思いますよ! お会いしましょうね!」案内状が来た。私は六十年ぶりに出席した。セピア色の卒業アルバムを取り出し、顔と名前をしっかりと脳裏に収めて行った。だが、「タカちゃん」と手を握りしめてくれた友人の顔がどうしても思い出せない。慌てて知ったふりをしたが、私のことも思い出せない友



人が殆どだったのではないか。六十年の歳月の重みを痛感した。

最初に今は亡き友に心からの黙祷を捧げ、その後校歌に始まり「故郷」「みかんの花咲く丘」「椰子の実」を斉唱し涙と共に乙女に戻り、懐かしさで胸が熱くなった。

欠席者の返信には「本人は到底出られるような状態ではないので」とか「主人から眼が離せないのよ」というのが多かった。集うことのできた四十三人は、みんな今まで生かされたことを感謝し合った。誰もが波乱万丈だったと思うが、愚痴る者は一人もいない。再会の喜びを共有し、来年また逢いましょうね。約束よ! と別れを惜しんだ。

伊丹市昆陽 戴内孝子八十一歳(旧高橋)
(毎日新聞より転載 本人許可済)

豊中高女四期生会

幹事 山中嘉子、大江悦子
永井徳子

平成十八年春爛漫の四月七日、天満橋のOMビル内二十一階の楽待庵にて豊中高女四期生会に四十五名のご出席を頂き賑々しく集いました。

夢まぼろしの如く過ぎし年月、あれこれに想いを馳せ、つきぬ話に名残りを惜しみ、戦中の苦しさも今から思えば、それもよき時代だったのでは... と思います。大阪城をバックに集合写真を撮りました。

よわい八十歳になんなんとして、友も次第に減り淋しくなりつつあります。お互いに健康に留意して残りの人世を楽しく明るく過ごしましょう。そして来年も又お互いに誘い合わせ元気に集いたいものです。

十九年度の幹事は高橋田鶴子さん、古銭孝子さん、辻靖子さん、岡部佳子

さん、杉原笑子さんの五名にお引き受け頂きました。今年は一月三日萩原美都子さん、一月二十九日魚谷みどりさんが逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



豊中高女六期生 喜寿記念同窓会

幹事 阿波田、稲垣、古澤、皆部
森、若林

日時 平成十八年五月十二日
場所 帝國ホテル大阪
出席者 五十八名

緑爽やかな快晴の日、二十二階の見晴らしのよい会場で、喜寿記念同窓会と銘うつて高女六期生会は盛大に開かれました。

思い返せば、私達は緑のリボン緑のラインに憧れて共に豊中高女に入学しましたが、折からは戦時体制の真只中。学業もそこそこにスカートを

んべに穿きかえ、防空訓練、開墾地の農作業、軍需工場への学徒動員、動員先での空襲と、軍国少女として緊張したためぐるしい毎日を過ごしました。そして遂に終戦。まことに大きな試練の連続の末、卒業したのです。

思えば、高女時代の私達は激動する時代の波をものにかぶって、そのまに懸命に生きた存在だったと申せましょう。その後喜びも悲しみも幾年月、人様々な生き方を経て、平和の裡に今日の喜寿を迎えることができたのです。北は北海道、南は鹿児島からもかけて、賑やかな会になりました。関東方面からも多数の参加がありました。

特に恩師の井上まさ先生には、御病後にも拘らず、お嬢様のご介助でご参加いただきましたことは、私達にとって大きな喜びでした。共に手を取りあつて今日在ることを喜んでいただき、感無量でした。

会えば一瞬にして、七十七歳の現



実を忘れ、往時の少女時代に還ることのできるのが私達の同窓会です。共に過ごしたあの激動の日々を思い起こし、旧交を温め、近況を語り合った会合でありました。

懐かしい高女時代の校歌を合唱し、最後に幹事一同での手作りの喜寿祝のしおり、お饅頭、クッキーを配ってお土産にいたしました。

楽しい時の過ぎるのは早いもの、あつという間におひらきになりました。今後は、残りの人生を穏やかに、又しなやかに、そして元気に過ごせますよう、お互いに祈念して解散いたしました。

高校八期生 卒業五十周年記念の会

幹事 宮武健次郎

昭和三十一年(一九五六)年卒業。五十年は考えてみると長し、振り返ってみるとアツい半世紀でした。平成十八年六月三日、阪急インターナショナルホテルに於いて我々高校八期の卒業五十周年記念の会を開催しました。

卒業生数四三七名、物故者及び住居不明者一〇名、約三三〇名の方々に呼びかけた結果、卒業後初めて出席の方も多く、遠く仙台、沖縄も含めて九十八名もの多くの方が、元気に参加して下さいました。桜塚高校で出会い、そしてこの出会いを今日まで大切に出来た訳ですが、当日は格別な催し物はせず、高校生時代に戻って多くの旧友とゆつくり語り合おうという企画でした。

初めはお互いに顔を見合わせ、名前等を確認してあつていましたが、時間が経つにつれてあの懐かしい時代に戻り、木造教室の隅や校庭、そして恵風園での立話の如く、時間が過ぎるのも忘れて五十年前にタイムスリップしました。

この懐しく楽しい時間がどんなクスリよりも精神的に大変効果のある。いやしの場となりました。これからの人生の中でもこの日の出合いを大切にしていくなことをお互いが心に留めて、記念の会は賑やかに閉会出来ました。

高校十一期同期会報告

吉田 和久

母校桜塚高校を昭和三十四（一九五九）年に卒業しては四十八年になりました。

五十周年記念までの中間で同期会を開催して欲しいとの希望があり、爽やかな秋空のもと、昨年十一月四日（土）に新大阪江坂 東急インホテルにおいて「高校十一期同期会」を開催いたしました。二名の恩師と六十七名の同期生が参集し、昔の記憶を手繰り



寄せながら懐かしい思い出話に時を忘れました。

一昨年の四月には、東京でも第一回の「十一期東京支部総会」を開催し、二十四名もの関東地区在住者が集まりました。

今回は三年振りの開催でしたが東西の遠方からや、近くに住みながら日ごろ無沙汰している皆さんと、尽きぬ話に夢中になる内に決められた時間も過ぎ去り、後ろ髪を引かれる思いで会場を後にしました。

今回は五十周年記念ですが、平成二十一（二〇〇九）年六月に同期会を開くべく計画をしております。世話役の会合で決めて、開催年度の会報に詳細を掲載する予定ですので、たくさんのご参集をお待ちしております。

高校十二期 卒業四十五年記念同期会

幹事一同

二〇〇六年五月二十日（土）、ホテルグランヴィアにて、卒業四十五年を記念する同期会を開催した。この会はSさんの呼びかけと尽力で準備が始まり、尚和会から助成金や名簿を出していただくなどのお世話を頂き実現した。中西昭次先生と、遠く静岡は箱根の方から関（油野）節子先生も駆けつけて下さり、計九十名が集まった。

会は軽妙洒脱なNさんの挨拶の後、両先生からこれまでの軌跡や近況を聞き、乾杯へと移り、会食と歓談が始まった。旧友の顔が分かるのか、自分のことを覚えてくれているのかと案じつつ参加した人の心配はすぐ吹っ飛んだ。

白髪混じりの紳士淑女も高校時代にたち帰り、表情やしぐさに当時の面影を残し話は弾む。懐かしい姿を見つけテールを駆け回る人もいれば、じっくり話し込む人もいます。いつまでも話は尽

きない。やがて閉会の時を迎えた。

私たちの大方は退職をし、これからの生き方を探っている。高校時代が青春ならば、これからは人生の秋。この秋を未だ挑戦者として、赤く燃えよう赤秋を生きようと誓い、再会を約し散会した。恋心を抱いた人との再会を期待していた彼、彼女は、その人に会えたのだろうかと思いつつ帰途に着いた。

高校十三期 卒業四十五周年同期会報告

世話人一同

昨年十月二十八日（土）御堂筋本町近くのヴィアール大阪にて、午後四時より一次会、同七時より二次会を開催致しました。恩師の佐野先生、水田先生、内田先生のご出席を頂き、総勢一一名の参加を得ました。梅田先生は足のリハビリ中、西井（福井）先生は先約があり欠席でした。

今までと変わったところと言えば、全員座れるよう十テーブルを配置し、会場内は禁煙とした事です。また、二次会を全クラス一緒に同ホテルの和室（掘りこたつ）で行いました。ビンゴゲームの賞品は宅配便の賞品を用意しました。ジャンケンゲームの優勝者小谷（酒井）満子さんより賞金金額を寄付していただきました。

今回は平成二十三年（卒業五十周年）に開催しますので、万障繰り合わせのうえご参加下さい。今まで参加出来なかった方も、是非出席して下さい。五年先はすぐにやって来ますから。皆さん待ってます!!

高校二十期第六回同期会

柳井真知子

私達高校二十期生は、平成十八年四月十五日（土）に、阪急インターナ



ショナルホテルにて同期会を開催致しました。出席者は、三名の先生方、長尾先生、牧先生、辻内先生と生徒五十九名でした。あいにくの雨の中を、鹿児島から菅村君、東京から牧田君、香川県から伊座並君と、遠方からはるるやって来てくれて、本当に懐しく、皆元氣一杯の笑顔で、二時間があっという間に過ぎていきました。

二次会は、本町のボニーラというライプハウスで、同期の谷君率いる、大阪ベンチャーズの演奏を聴きながら、飲んだり、食べたり、踊ったりと、日頃のストレスを、発散致しました。また、偶然にも、元阪神タイガースの監督の星野仙一さんが来られており、皆緊張の中、とても嬉しく思いました。

さて、久しぶりの再会に喜び、今回は、三年後の還暦記念同期会で、また会おうと約束して、散会致しました。ご出席くださった皆様ありがとうございました。次回もぜひ大勢の方の参加を、願っております。

高校二十二期同窓会

幹事 中西 武

平成十八年八月十九日東天紅にて、桜塚高校二十二期生同窓会、無事開催させていただきました。三十六年ぶりのタイムスリップ、先生たちと対面いたしました。生徒たちも大変喜んで帰られたみたいです。みな、五十五歳という人生の節目まで、あと五年。人生の厳しさ、喜びを感じている年であり、もう少しがんばりたいという、先生との出会いでした。

五年後には、還暦同窓会を開催したいとみんなが言っていました。また会うのが楽しみです。今回は助成金どうもありがとうございました。



高校二十四期会 初開催

幹事 岡本 雄二

日時…平成十八年五月六日(土)
場所…新大阪江坂東急イン
ボールルーム

出席者…一六〇名江坂東急イン

卒業後三十四年目にして、初の同期会開催となりました。一年前に何気なく「開催しようや」という近本君の無責任な一言から全てが始まりました。小さな同級生の輪がメールを通じて伝言ゲームのように広がり、十二月の一回目の有志会には同期とは言い名前も知らない二十名が集まり、何故か旧知の如く盛り上がり開催を決定しました。

GWの只中に、会場には続々とらしき人々が集まり、一様に変わり果てた旧友を探し当て、歓喜の輪が彼方此方に出来、また更に違う輪が入り交じり延々と談笑の宴が続きました。

先生方も、相澤昂、大西康雄、熊田文子、中西昭次、前田幸雄、弓庭栄夫先生にお越し頂き、昔と変わらぬままのカクシヤクたるお元気ででした。只、

桜塚高校24期同窓会



多谷隆、山崎一徳両先生が直前の体調不良で欠席されたのが残念でした。最後に三十数年ぶりの校歌大合唱では涙する者も多く、改めて桜塚及び同級生の深い想いに感動が増しました。また、三十二期生水谷・山村両君及



高校二十八期 卒業三十周年記念同期会

幹事 乾 憲隆

日時…平成十八年八月十二日(土)
会場…ホテルメトロロ21
出席者…九十一名

び同期の石原、橋、深町さんから大量のご協賛品を賜り、この場を借りて御礼申し上げます。有難うございました。因みに、会場をそのまま二次会場として開放。殆ど全員が残残り、延べ五時間以上の大同窓会となりました。その後は夜の江坂の街へ三々五々繰り出したのはいうまでもありません。



高校二十九期 サクラの花の下、桜が集う

山澤 健二(全二十九期)

「これからまだ仕事やねん、差し入れだけ持ってきたから、俺の悪口で盛り上がるなよ！」

「家が近いと損やわ、しゃあないから、おでん作ってきた」

駅前から、岡町商店街を出きって右の桜塚公園(通称・ソウ公園)では、三年続けての二十九期生の花見が行われました。

四年前、卒業以来初めて開いた、全体同窓会の勢いで始まったこの催し。入れ替わり立ち替わり三十人以上が参加しました。宴たけなわで、母校の枝垂れ桜を見に行ったり、フラッと数人で散歩に出たり、夜遅くまで五時間騒いでいます。

この花見が済むと、七月はビア・パーティー、八月は真夏のバーベキュー大会、忘年会、新年宴会。その間に、有志で映画・コンサート・寄席見物で集合が掛かります。二十九期には、ネットの広場があつて、七十人以上が登録しています。そこでも毎日、ワイワイガヤガヤしています。

「高校時代に聴いたあの歌、今と感じ方が違う?」

「二十九期東京支部の連中と飲んだ



よ」

「あの当時より、今の方が同窓生の友だちが多い!」

「みんなで出資して、高齢者施設に一緒に入れへん?」

スゴイ話が飛び交います。

十代の頃に、同じ場所ですぐ遊び、涙を流して思いっきり笑った仲間。こんな良い付き合いが出来るとは、思わなかったなあ。

同期会予告

高校四期卒業五十五周年

同期会ご案内

日時…平成十九年五月二十日(日)

午後三時半より

(創立七十周年記念総会後)

場所…ヒルトンホテル

詳細は同封の案内状をご覧ください。多数のご出席をお待ちして居ります。

世話人一同

高校九期生卒業五十周年及び

古希を祝う会

日時…平成十九年十一月十一日(日)

受付 午前十一時三十分

場所…ホテルアイポリー

(阪急豊中駅から約三分)

会費…一万円

九期生の皆さん、お元気ですか。

美しい桜に覆われた木造校舎を卒業して、早や五十年を迎えることになりました。

また、年を明ければ人生七十年・待望の古希を迎えます。この記念すべき年を同期会の皆さんと共に祝いたいと思いますので、ご案内を申し上げます。

九期生幹事一同

お便りから



平成十八年四月から平成十九年一月までにお送り頂いたものの中から掲載しています。

旧職員 高女二期 平田 温子
封筒にまで校章を印刷して頂いて胸一杯になりました。卒業生多しと言えども、二つの校章を持っているのは私達過渡期の者だけでしよう。プライドと自覚を胸に通学していたあの頃がとてなつかしいです。

高女一期 伊藤 幸子
充実した尚和会報を御送り頂きありがとうございます。六月には同期会がありますので楽しみにしております。九月が来ると八十二歳になります。この年になって（二年前から）アメリカン・カントリ・ソングのライヴを楽しんでいます。高女時代の英語の授業を思い出します。

高女一期 山本美菜子
御懐しく拝見しました。
高女二期 中之蘭久美子
「傘寿」とは……表むきは祝（残された友達を大切にします）。実質は峠（険阻な……）と悟りました。

高女二期 俣野 加代
会報有難うございます。健康に氣をつけ、心おだやかにして、来年の会報の表紙を今から楽しみにしている八十歳の女学生です。アハハ……。

高女三期 石田 咲子
二〇〇六年会報只今届きました。五月六日。生きているしるしのようで、全ページよみ終えたところです。ありがとうございます。

高女二期 梶田美智子
お世話です。同期がみんな八十歳になったんで傘寿の集まりをしました。ご盛会を祈ります。貧者の一灯です。

高女四期 高原 久代
尚和会々報有難うございました。思い出一杯で胸が一杯になり、又お会い出来る日を楽しみにしています。

高女四期 佐藤有紀子
夫、病氣の為残念ながら総会懇親会欠席しました。いろいろお世話いただき有難うございました。私は元氣で過ごしております。

高女五期 鴻野 節子
会報有難うございました。なつかしく読ませていただきました。来年も会報を読ませてもらえるよう、これからも頑張ります。

高女五期 和氣 恭子
戦時中の真只中を過ごした豊中高女時代でしたが、人生のうちでいちばん楽しい心豊かな、殊にハンドボール部は良き先輩後輩とグラウンドを走りました。

高女五期 林 道子
会報送付して頂きありがとうございます。同期会の会合のお写真や、懐かしい高女のころのグリーンの校旗を見まして、嬉しく思っています。編集なさる方々大変お世話様でございました。

高女五期 廣實 輝子
二〇〇七年は創立七十周年との事、おめでとうございます。女五組が入学した年、一九四一年、新築校舎（木造）完成。全学年（一〜五学年）も揃い、五月二十二日落成式。一週間はお祝の行事が過ぎました。その年の暮れ、十

二月八日太平洋戦争に突入しました。

高女六期 齊藤 滋子
会報楽しく読ませて頂いて居ります。いつの間にか喜寿の年になり、五月十二日の同窓会は、井上先生にもお目にかかれて楽しい一日、なつかしい方々とお会い出来て幸せでした。感謝します。

高女六期 佐藤 盈子
高女四年から受験し、大阪第二師範学校（現大阪教育大）に入学。高女では何年卒になっているか不明なので記入していません。（編注・高女六期は昭和二十二年卒業です。）

高女七期 石田マリ子
先輩高女一期の越水ユリさんが、平成十八年度春の叙勲を受賞された由、新聞で拝見しました。本当におめでとうございます。嬉しくてなりません。心よりお祝い申し上げます。

高女七期 渡辺 良子
尚和会会報を有難うございました。来年は創立七十周年を迎えるに当たり、母校の発展を祈念致します。

高女八期 三浦 蓉子
一期生の先輩の方々が八十歳の集まりを持たれた記事と集合写真に感動しています。私達も八十歳通過点を目標にと背筋をのばしております。

高三期 増山 和子
来年は創立七十周年。今から会報の届く日を楽しみにしています。より充実した楽しい頁を、期待と感謝を込めて。

高四期 池崎 邦夫
最近母校愛という言葉が死語になりつつあるような気がしてならない。私だけかな？

高五期 中島 光夫
懐かしい母校の様子、会員各位からのお便り、同期会報告等々拝読。遠い昔が回想されました。

高五期 山下 喜美
二〇〇六年六月十八日、京響五十年コンサートに創立時メンバーとして出ますよ。

高六期 西田 明子
いつも御世話様になり有難うございます。

高六期 本阪 英子
或、よさこいチームの、B・B・C（ビューティフル・バーチャン・クラブ）グループの最高齢者で、昨年も高知で三日間踊り抜き、今年三月に本場、L・A・デイズニールランドで、若い人に交じって踊り、バカ、やっています。

高七期 中野 直行
卒業して半世紀、すっかり老齢になつてしまいました。時折、豊中市役所に用事で行った際には、母校の校舎を眺めなつかしんでおります。

高七期 関 高明
昨年（平成十七年）は、高全七期の卒業五十周年大会にて多くの方々にお会いでき、たいへん楽しい一時を過ごすことができました。これからもお元気に活躍され、又の出会いを楽しみにしております。

高七期 仁木 悦子
葉桜の美しい頃に届くずっしりの会報楽しみです。

高七期 井上 治子
来年、茶屋町画廊で一人展。七月九日〜十四日。エッセイ集出版の予定。



医療法人社団 秀真会

理事長 玉置 秀司（28期生）

〈診療科目〉
一般歯科、小児歯科、矯正歯科、口腔外科
URL：www.cosme-dent.com

西調布歯科医院 TEL.042-481-6071
調布市上石原1-39-1
京王線・西調布駅徒歩30秒

虎ノ門玉置歯科 TEL.03-3509-6766
港区西新橋1-6-13
銀座線・虎ノ門、三田線・内幸町徒歩5分

西調布駅前歯科 TEL.042-481-6086
調布市上石原2-29-5
京王線・西調布駅徒歩30秒

飛田給歯科医院 TEL.042-499-5001
調布市飛田給1-26-7
京王線・飛田給駅徒歩1分

府中中央歯科 TEL.042-340-0227
府中市宮町1-35-7
京王線・府中駅徒歩4分

武蔵野台歯科 TEL.042-363-0648
府中市白糸台4-15-35
京王線・武蔵野台駅徒歩2分

高七期 池田 路子
幹事の皆様方御苦勞様です。昨秋、卒業五十周年に集って感無量でした。

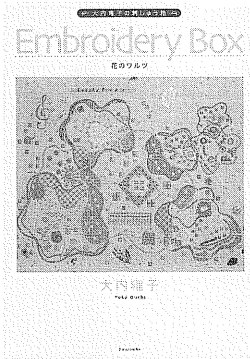
高七期 井上 眞一
ご案内頂きました。ありがとうございます。新幹事の方々での、最初の総会ですね。ご企画、ご準備などご苦勞様です。ご盛会を楽しみに参加させて頂きます。(前 東京支部長)

高八期 宮武健次郎
今年で桜塚高校を卒業して五十周年の年です。アツと言う間でした。

高八期 三輪 順子
会報なつかしく読ませていただきました。うれしかったです。ありがとうございます。

高八期 大上 昌子
卒業後五十周年の月日が流れましたが、当時としては設備の整った美しい旧校舎を時々懐しく思い出しております。

高八期 大内 雍子
いつもなつかしく会報拝見しております。私達は桜塚と一緒に年に生まれたことに今更驚いています。この度新風舎よりヨーロッパ刺しゅうの本『花のワルツ』を出版しました。趣味のある方御読み下さいませ。



高八期 若木美知子
昨年六月の同期会は本当に楽しかつ

たです。次回を楽しみに待っています。

高九期 中村 清嗣
高校を卒業して五十年(六十八歳になりました)。楽しかった高校時代(バレーボール等)を思い出しながら、岐阜と大阪の二重生活で頑張っています。

高九期 石西 啓子
私達は今年卒業五十周年となりますが、担任して頂いた井上三郎先生が昨年お亡くなりになり、とても淋しく残念に思っております。

高十一期 竹島 護
「尚和会」ホームページ(H.P.)を早速見せて貰いました。H.P開設「賛成」です。関係者の方々には大変でしょうが、一日も早く「工事中!」が取れますように!

高十一期 鈴木ますみ
大変お世話をおかけしております。御盛会をお祈り申し上げます。

高十一期 森 幸子
なつかしい会報ありがとうございます。仕事に追われ、連休も取れません。益々元気で若い者と共にがんばっています。

高十二期 阿部 佳隆
久しぶりの同期会。初老男女の面々は昔の面影を思い出しながら青春時代へタイムスリップ。近況想い出話にひたりながら楽しい一日を過ごしました。桜塚高校・尚和会の発展を祈る。

高十四期 佐々木厚一
尚和会の各委員さん、ご苦勞様です。

高十五期 井上 洋治
桜塚高校の生徒の勉学、諸活動の

ますますのご健闘、教職員のご健勝ご発展に併せて、尚和会のご発展を祈念いたします。

高十五期 富士 凱彦
会報ありがとうございます。楽しく読ませて戴きました。毎年届くのを心待ちにしています。役員の皆様のご苦勞に感謝!

高十五期 秋山八津代
いつもお世話になります。二〇〇六年の会報届かなかったのですが、振込を忘れたからでしょうか?

高十五期 大畠 光昭
「エッ!! 高校は桜塚ですか」。昨年一年間でおよそ四百余名の方々と名刺交換をさせて頂きましたが、営業上の会話の中で時たまこんな場面がありました。同窓と言うだけで自然と顔が緩み嬉しくなり、尚和会のことをもPRし協力を仰ぎました。十五期の卒業四十五周年同期会は来年(平成二十年)開催です。年金受給者集まれ!!

高十六期 渡邊 源治
なつかしい便り、楽しく読ませていただきました。母校のますますの発展を祈ります。

高十八期 小竹 愛子
還暦を前に五月十一日に、三年一組内田先生クラスが集まりました。計二十人内田先生を囲んであつという間の三時間。なつかしく楽しく昔にかえることができました。

高十八期 長島 順子
ご案内ありがとうございます。

当日は残念ですが、欠席させて頂きました。息子二人も家庭を持ち、孫が二人になりました。総会ご盛会をお祈り申

し上げます。少額ですが三千円を振込みますので、支部の運営にお使い頂けたらうれしく存じます。

高二十期 山口 恭史
神田詩朗先生時代の音楽部の皆さん、一度OB会を開きたいと思っています。世話人になってもよいという方々、連絡ください。現在は何の準備もしておりませんが……。

高二十一期 小松 友代
会報ありがとうございます。四十年ぶりに紙面で中務公子先輩のお名前とお写真を目にして嬉しく思いました。役員の皆さまご苦勞様です。

高二十二期 市野理枝子
お疲れさまですよろしく願いします。

高二十五期 武田 義彦
桜塚がなつかしく思いだされます。

高三十期 門田 晃代
井上まさ先生のお元氣そうな写真を見上元朋子さん、加藤恭子さんと盛り上がりました。尚和会のご発展をお祈りします。

高三十一期 前田 礼子
二十二歳と二十歳の子は独立しましたが、高一、小六、二歳の双子と毎日忙しく仕事しながら何とかやっています。

高三十三期 高橋 展子
結婚後オランダに永住です。ピアノで活動しております。

高三十五期 森本 智子
甥の生徒手帳を見て、久しぶりに校歌を思い出しました。とても美しいハ

原 歯 科 医 院

歯の健康相談



〒560-0026

豊中市玉井町1-11-22

☎ 06-6855-4824

原 一 仁 (高6期)

「モニターは忘れられません。今はあまり歌わないと聞き、残念に思いました。

高三十七期 直井 真紀
昨年、茶道部五十周年式典に参加し、原田先生や先輩方にお会いすることができました。

高三十七期 松下 和子
三十七期のみなさんお元氣ですか? とうとう今年のお誕生日で四十歳になってしまいますね。気持ち桜塚のままで……(笑)。

定五期 氷見 雪江
七十一歳になりやとと夜学で学んだ時間が「いとおいしい」日々の様に感じています。

定七期 佐々木好一
青春の思い出に少し感傷的になりま

した。今回も他者に心をくばり、お世話する、面倒をみる、こんな熱意で尚和会を育て、人と人向き合う温かさ、幸せと感謝。遠ざかる「昭和」への郷愁を、その時代を生きた人間の悲喜劇の綴りをありがたうございました。

定七期 岡島 勇

創立七十周年をひかえて、尚和会、新興会の益々のご発展を御祈りします。

コーラスの思い出

大阪府立豊中高女、昭和十八年三月卒業
高女二期生 大江美智子（旧前田）

私が小学校低学年の頃、蓄音器（プレーヤー）が出来て町に出始めました。その頃両親は謡曲をして居り、私は日本舞踊を始め居りましたが、そのお稽古に使えるのと、演歌が気楽で気に入ったので、蓄音器を買って、家族は暇があればレコードをかけて、音楽を楽しんで居りました。今のようにたのしみや、する事のなかった時代でした。

六年生の時、朝日会館で全国小学校音楽会があり、克明第一尋常小学校（克明第一は高等科がありませんでした）がコーラスで出演し、ラジオで全国放送された事がありました。

豊中、府立高女三年の時、先生に合唱団（コーラス）へ入りなさいと言われ、私も含め三年、四年から四十人ほど選ばれました。私達は三年、四年、五年の三年間教えて頂きました。

熱心な音楽担当の榎本先生の御指導で、毎日のように練習をし（その頃の一般の「部活」は今ほど盛んではありませんでした）、四年生の終わりの二月十一日（建国祭）には大阪中之島の「中央公会堂」で府下高等女学校の

音楽会があつて出演し、一番となり、校長先生に大へん喜んで頂きました。

時局は大東亜戦争が始まって居り、アメリカの飛行機が一機飛んで来た事がありました。私は先生から「典型的なメゾプラノ」と言われ、良い氣になつて、「東京上野の音楽学校へ行きたい」と言いました。父はそれを聞いて「アメリカの飛行機は又、屹度飛んで来るに違いない。空襲にでもなれば、お前はよう逃げない。止めとけ！」と一喝しました。今思えば、それが父親の愛情から出た言葉だったのです。私は素直に思い止まりました。

五年生の卒業前の二月十一日（建国祭）にも高等女学校の音楽会に出て、一番をとり、校長先生に又々喜んで頂きました。

真冬の真只中の音楽会！戦争の最中でもありました。お昼と言つても休憩の部屋もなく、私達は公会堂の円柱の廻りに只集まつてしゃがみ、家から持つて来た凍りかけたお弁当を歯をガチガチ言わせ乍ら頂きました。頂いて却って体がふるえたものでした。お弁当の温め所も、暖房器具も一切ありませんでした。若さが私達を支えてくれました。戦地の兵隊さんの事を思えばと力んだものでした。忘れる事は出来ません。

発声が出来なければと、毎日コーラスで練習をさせて下さった榎本先生もお偉かったと思います。私はコーラスで発声練習をして、日本舞踊のお稽古日には、お稽古場へ廻つて夕方七時頃家へ帰つたものでした。（平成十八年「橿原市文化協会誌」より）

豊中高女・送球部の思い出

高女四期 永井 徳子

母校創立七十周年、おめでとうございます。役員の皆様、理事の方々、

ご苦労さまです。ご盛會を祈ります。

私は昭和十五年に入学しました。皇紀二六〇〇年で国中がお祝いムードにあふれていました。しかし支那事変が長びき、国際情勢は厳しく、物資は次第に圧迫され、三期生までは純毛の制服でしたが、四期生からはスフになつて、濃紺がすぐに変色したりしました。

二年生の春、東京高師（現・筑波大学）を卒業された中村安蔵先生が着任されました。学生時はサッカーの選手をして居られ、お顔は真っ黒、精悍そのものでした。女学校にはサッカー部がないので、目をつけられたのがハンドボール。当時は、「送球」とい

いました。ドイツの国技で、まだ日本には広まって居らず、唯一の指導本を片手にルールからの勉強でした。現在はインドアに変わりましたが、当時はアウトドアで、コートもゴールポストもサッカーと同じで十一人制でした。学校に予算がないので、竹を切つてもらつてきて、運動場に手製のゴールポストを部員で組み立てました。それはそれは、スパルタ式に鍛えられ、毎日夕方、暗くなつてボールが見えなくなるまで、練習に明け暮れました。

当時の豊中は水源に乏しく、夏になると時間給水でしたから、水道栓（カラン）をまわしてもカランカラン。現在のプールの横に井戸があり、近所からの貰い水と呼び水としてポンプを押し、皆で掌に受け、はじめの人はボーフラが浮いているのを吹き飛ばして飲みました。そのおいしかったこと……。今はサッカーもマラソンも水分を補給するのが当たり前ですが、私たちの頃は練習中に水を飲むのは許されず、塩で口の中がザラザラ、唇も白く変色したものです。スポーツ医学も隔世の感があります。

ボールも補給が出来ず、糸目が切れると麻糸で修繕し、中のチューブも

糊付けで使用していました。のちに、大会に出て、本革のボールの感触の良かったこと！大感激したものです。

中村先生は「文武両道たれ」と部員の成績を気にして居られ、試験の一周間前にはボールに触れるのも許されませんでした。毎日毎日練習に明け暮れ、夏休みも返上して、ただ送球漬けの日々でしたのに、十二月に中村先生が軍隊に入られたときには、一同、涙でお別れしたのです。その後は佐野先生にコーチして頂き、佐野先生が退職されてからは山口ウメ子先生が引き継がれました。

昭和十九年になつて戦争が激しさを増したところ、学徒動員として、私たちは別々の工場に出勤することになり、練習も出来なくなりました。やつと戦争が終わり、昭和二十一年には第一回国民体育大会が開催されました。古川さん（楠さん・故人）と私は、学校で練習を重ね、四期・五期は卒業していましたが、七期・八期の現役の



昭和19年3月の送球部のメンバー

許認可申請のアドバイザー

松尾行政書士事務所

行政書士 松尾 宗好（高14期）

豊中市春日町5丁目9番41-103号
TEL 06-6840-9117 FAX 06-6840-9120
E-mail: mune@mvj.biglobe.ne.jp

三菱グループ関連会社 21世紀を担う物流企業



菱江運輸倉庫(株)

〒561-0823 豊中市神州町2番81号 TEL 06-6331-2453 FAX 06-6331-2465

運輸部門

トラック便全国一円、JR貨車便、航空便、船舶、輸出入関連運送取扱事業1種、2種、宅配便、小口、混載各種取扱、引越

倉庫部門

在庫管理（先入先出）荷造、包装、梱包、保税品取扱、荷造資材販売及リース、合成樹脂切断及化工

特殊部門

危険物、毒劇物高圧ガス、重量物長尺物、工場移転事務機器、精密機器輸送及据付、ISO-9000認証、ISO14000取得

●主な事務所 大阪、四日市、鹿島、東京 代表取締役 上田 豊年（高7期）

方々と「豊中クラブ」として、女子一般の部に出場。西宮球技場で見事優勝を果たすことが出来ました。

私たちに送球の第一歩を手ほどきしてくださった、中村安蔵先生が今年（〇六年）十月七日に逝去されました。復員されてからは滋賀大学でサッカー部を監督され、熱血指導をされたと聞いて居ります。心からご冥福をお祈り申し上げます。

私事ですが、国体では古川さんと二人、日体大出身の方々を中心に結成された「大阪女子クラブ」に入れて頂き、団体で第二、第三、第四、第五回と連続優勝しました。これも中村先生の情熱が乗り移った賜物と本当に感謝して居ります。ただ、生活環境が変わって、豊中へも足が遠のき、後輩のこと、ハンドボールのこと、何にも力になれなかったことを後悔しております。

現役の方も、どうぞ勉強も大事ですが、青春の思い出に、部活に打ち込んでください。将来きつと、それは生活して行く上でのコヤシとなつて、人との和、活力にプラスされると思います。

桜塚高校の今後のハンドボール部のご発展、ご活躍を期待して居ります。

桜花会の歩み

高女八期 中村 陽子

私達の同期会の始まりは昭和三十八年頃で、年々形を整え乍ら昭和五十九年頃に高女卒高校卒を纏めて桜花会としました。平成六年六月六日に桜花会を持った時より、毎年六月六日と日を決め、平成七年からは、会場も千里阪急ホテルと定め今年に至る迄、一度も抜ける事なく集って参りました。

還暦の小旅行も古稀の記念旅行も実行されました。桜花会の誇れる事は、皆が仲良くこの何十年もの間、対立やトラブルが一度も無かった事です。

十年前の六十周年の折には、七十周年の時には、生きているかどうか分からないね、と笑って居ましたのが、何とも今年の事になりました。それと共に私達も喜寿の記念行事をどうしようかと、話合つて居ます。又これからの桜花会もこの儘でよいのか話合う必要もあるのではないのでしょうか。私達は戦前戦中戦後と生きて、恵まれな時期もあつた筈ですが、思い出なつた今は唯々懐しく或時期を共有した固い絆で結ばれて居ます。

青春時代が夢なんて後からほのぼの想うもの、と歌われています。

あの頃の話をする時のキラキラした表情、弾んだ声、その時間を取り戻す事が出来るのが桜花会です。

今年も間もなく六月六日が来ます。詳細は後日案内状を差上げますが、案内状不要とされた方も是非御参加下さい。唯その方には案内状の葉書は届きませんので、FAX・電話・メールでお知らせ下さい。

・電話FAX共用

〇六六八四四一五七〇 中村

・Eメール

youko-nakamura-baba@nifty.com

高女一期越水ユリ氏 叙勲受章 高校五期一色貞輝氏

広報委員会

平成十八年四月二十九日に越水氏が瑞宝単光章を、平成十八年十一月二日に一色氏（前豊中市長）が旭日中綬



越水ユリ氏



章を、それぞれ皇居にて、天皇陛下より授与されました。誠にめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。

前田憲男君の思い出

高校五期 宮口 一郎

桜塚高校三年生八クラスの七組に前田君は所属し、私は八組に在籍していました。物理と化学、生物や音楽と美術などは選択制だったので、選択科目の授業の場合は七組と八組は合同で勉強していました。その場合私は前田君と隣り合わせの席でしたので、一番よく話合う友人でした。

英会話が流行しだし、高校でも英会話のクラブが設立される機運になっていました。英語に堪能な前田君と相談し桜塚でも出来たばかりのE・S・Sに参加しました。アメリカ帰りの井上先生のご指導を仰いだ記憶があります。

E・S・Sではクラブの会誌発行と、北摂地区高校の英語での弁論大会参加が当面の大きな行事でしたが、英語の会誌については、前田君の実家が印刷業で、彼自身もかなり仕事の手伝

いを経験していて、原稿集め、編集、ガリ版切り、印刷、製本と、ほとんどの作業を一人でやって仕上げてくれました。

北摂地区英語弁論大会も、私はとても自信が無く、前田君に頼み込んで代表選手になってもらいました。演説の草稿は私が作成しましたが草稿の選び方がまずかった為か、優勝には至りませんでした（ルソー…自然へ帰れを引用したように思います）。優勝はアメリカ合衆国独立宣言を大きな声を張り上げ力強く演説した他校の生徒でした。

前田君のピアノの練習は、音楽室に一台あつたグランドピアノが唯一の頼りでしたので、朝早く登校して一人で練習していました。しかし家の仕事もあり、早朝登校できなかつたり、他にもそのグランドピアノで練習したい生徒が幾人かおり、いつでもピアノが使える訳で無く大変苦労していました。

有名な話なのでご存知の方も多いと思いますが、彼は両手それぞれで同時に同じ絵や（異なる絵でも）文字が描けます。またその両手の大きいことと、指の太いことに大概の人は吃驚します。手のひらを広げれば一オクターブ以上楽々届き、まことピアノ演奏に適した。神の手の如しでした。

大きな手なので腕相撲も滅法強く、私はいつも勝負になりませんでした。

新聞部の前田君は漫画も上手で、学校新聞に四コマ漫画を連載していました。卓球部に所属していた私の大学合格祝いに卓球をしている漫画イラストのハガキをくれました。これは生涯の宝物として保存しております。

他にもジャズバンド、演劇部、放送部、新聞部と多方面で多彩な活躍をされていました。

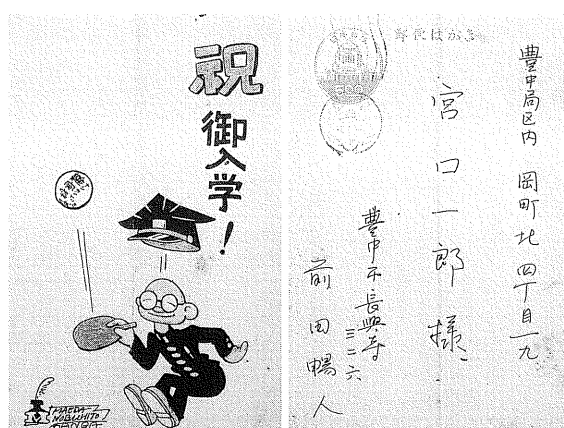
高校卒業後、しばらくして東京の私の下宿宛に「上京して落ち着いたの

で、遊びに来い」と丁寧な手書き地図付きの手紙を呉れました。「手土産を忘れるな!」と追書してあつたので、早速果物籠を調達して伺いました。

二階建ての木造アパートでした。少し風邪気味の彼は、横長の白い紙にピアノの鍵盤を描いたものを広げ、指



桜塚高校新聞掲載の四コマ漫画（昭和26年）



宮口氏宛に出された前田氏のハガキ（昭和28年3月24日付）

の運びを練習していました。「音を出す」と、住民に迷惑かけるからな」と言うのが彼の言い分でした。

これが若き日の前田憲男の有名な「紙のピアノ」との最初の出合いで、当時は未だ旧名の前田暢人でした。

当時ジャズメンなら誰でも知っていた「スイングジャーナル」という音楽誌を上げ、部門別人気投票の欄に彼の名前も出ていることを教えて呉れました。ピアノ部門の他、サキソフォン、クラリネット、トランペット?などにも登録していると聞いたような気がします。

「人気投票の順位が上に上がらないと、いい仕事に就けないのだ」と自分の位置を指差す例の太い指がとても印象的、かつ自信にあふれて居る様に思えました。秀才ばかりの友人の中で、今にも落ちこぼれそうで、アップアップしている自分が情けなくもなりました。

人気投票の用紙は月刊雑誌一冊に一枚しか無く、自分は何冊も買える環境には無かったため、投票には少ししか協力出来ませんでした。しかし、その心配するまでも無く、程なく風の便りで彼の順位がグングン上昇していると聞きました。

その後直接会ったのは、厚生年金会館での演奏会で、同期生数名を誘い合わせ楽屋見舞いに訪問した時で、常に遠くから素晴らしい活躍振りを、誇らしい友人として注目していました。又高校時代大変助けて戴いた大恩人としての感謝の気持ちも忘れ難く思い続けてまいりました。

今回母校創立七十周年記念総会に出演でき本当に有り難く思っております。持ち前の素晴らしい才能と、強い信念で中学以来の夢を立派に実現して来た前田君。これからは健康に充分留意して、同窓生だけでなく後につく人々に、日本中のの人々に、さらに世界のの人々に、

に、夢と希望と楽しみを与え続けて下さい。皆々様共々のお願いです!!

十九期生のヒーロー逝く!!

高校十九期 大岩正明・海老一夫

奥田敏輝、二〇〇六年(平成十八年)九月十四日逝去、享年五十八歳。

その訃報を知ったのはスポーツ新聞だった。「元阪神タイガース投手……」卒業生の中では名前を知られ、十九期会の会長としても信頼が厚く、早すぎる死に誰もが驚きを隠せなかった。

一九六七年度の卒業アルバムに、前年の全国高校野球選手権大阪府予選で創部初の決勝進出を果たした活躍ぶり、特に一ページをさいて掲載されている。その立役者は何と云っても一人でマウンドを守った奥田君だった。横手投げの独特のフォームで六試合連続完封勝利。特に準決勝ではプロ野球の阪神、広島で活躍した大阪学院高・江夏投手に二対〇で投げ勝った。決勝戦は北陽高と対戦。雨のノーゲームとなった。翌日の再試合ではついに力尽き〇対四で敗れた。甲子園出場は夢は絶たれたものの、野球部の活躍に桜塚高校全体がひとつになって燃えた瞬間だった。

奥田君はドラフトで阪神に入団(二位は江夏豊)一軍では通算六年間で九試合に登板、〇勝〇敗、防御率三・二一という成績だった。七十三年に退団後サラリーマン生活を経て、水道関連の奥田設備工業所を興した。後輩たちの試合観戦は恒例で、差し入れを持って激励に訪れていた。また、野球好きが高じ、長男には野球漫画の「巨人の星」から一徹、孫には飛雄馬と名付けるほど。

〇五年の暮れから入退院の繰り返し。〇六年の父の日には子供さんらが駆けずり回って、入手にくい大リー

グオールスター戦の切符をプレゼントされた。「スタンドでは、まるで子供のようにしゃべり喜んでいました」と妻の享子さん。江夏君とはその後も友達付き合いし、あの準決勝の三周年記念として桜塚対大阪学院高が再対決。「楽しかった」と笑顔で振り返っていた。その時新調した大好きな桜塚高校のユニホームを着て見送られた。桜塚を愛し、最後まで野球少年の心を失わなかった奥田君。我々に多くの感動と勇気を与えてくれた十九期生のヒーロー。桜塚の歴史とともに、いつまでも同窓生の心の中で生き続けることでしょう。

合掌

平成十八年度 総会・懇親会

行事担当副会長 上田 幸子

平成十八年度の総会・懇親会は、五月二十一日(日)に、ホテルアイボリーにて開催されました。来賓・会員合わせて、七十九名のご参加をいただき和やかに行われました。

総会では、田中会長の挨拶のあと、着任二年目になられる西郷校長先生より、尚和会に対する心温まるお祝辞をいただき、引き続き新役員の紹介、ならびに各委員会からの報告がありました。特に来年度創立七十周年を迎えるに当たり、各委員会からは、その準備にかかわる報告がなされ、記念総会への期待と緊張感が感じられました。

総会では、瑞宝章を受章された越水ゆりさん(高女一期)が乾杯の音頭を取られめでたく開始されました。アトラクションでは豊中市在住のアコーディオン奏者かとうかなこさん

をお迎えし、大阪弁を交えたユーモアあふれるトークと優雅で滑らかな演奏が会場を魅了しました。演奏された鍵盤ではないボタン式の珍しいアコーディオン



イオンの紹介や、小さなかわいいアコーディオンも持参され、「となりのトロロ」や最後には「六甲おろし」まで飛び出し会場は熱気にあふれ、すっかり演奏者の魅力に陶酔したひと時を過ぎました。

今年の総会
「五月二十日
(日)」は七十周年記念総会としてヒルトン大阪



KIIP (廣済堂国際インターンシッププログラム) について

- 英語力向上コース
- コスプレ・コスプレ制作コース
- アニメ・マンガ制作コース
- 音楽制作コース
- 料理・パティシエコース
- 美容・メイクアップコース
- 英語力向上コース
- コスプレ・コスプレ制作コース
- アニメ・マンガ制作コース
- 音楽制作コース
- 料理・パティシエコース
- 美容・メイクアップコース

グループ向けに個別アレンジ可能なプログラム

英語力を高めるには、まず「聞く・話す・読む・書く」の4つのスキルを身につけることが大切です。

本気で学べば、インターンシッププログラムで、英語力・コミュニケーション能力・リーダーシップを身につけ、海外での活躍が期待できます。



● お問い合わせ ● 株式会社廣済堂 国際インターンシップ事務局
〒560-8567 大阪府豊中市堂島西町2-2-1
E-mail: intem@net.kosaido.co.jp
フリーコール: 0120-956-032 URL: www.kosaido.co.jp



で開催されます。大阪芸術大学教授で有名なジャズピアノリストの前田憲男さん（高校五期）とヴァイオリニストの幸田さと子さん（高校四十期）をお迎えし盛大に行う予定です。六十周年、五十周年と同様、多くの皆様の参加を心より願っております。

どうか母校が古希を迎える記念すべき総会に、今まで参加されなかった同窓生の皆様も、同期生お誘い合わせの上、ご参加下さいますようお願いいたします。待ち申し上げます。

平成十八年度 新年理事会をふり返って

行事委員 柳井真知子

平成十八年度、新年理事会は、評議員会との合同懇親会で、一月二十一日（日）に、千里阪急ホテルにて開催されました。校長先生をはじめ、来賓の方々



四名と理事六十名、合わせて六十四名の方が御出席下さいました。皆様、お寒い中を、お元気に御出席頂き、今年もよろしく。との御挨拶で始まり、新年会ということもあって、女性の先輩の中には、あでやかにお着物姿で、会に華やかさを添えて頂きました。

さて、今年は桜塚高校七十周年の記念行事が五月二十日（日）に予定されておりますので、西郷校長先生、田中会長、各委員会の委員長から記念事業に向けての準備などの報告をして頂きました。各々の皆様の御努力に心よりありがたく、感謝致しました。

お食事の方もとても美味しく頂き、皆様満腹状態で、会も終盤を迎えたところで恒例のビンゴゲームに入りました。司会は十八期の渋谷さんをお願いしまして、ユーモアにあふれる進行に、とても楽しく、大半の皆様は景品も当たり、喜んで頂いたものと思っております。

その後、あつという間に閉会の時刻となりまして、上田行事委員長の閉会の辞で、拍手をもって、皆様散会されました。

又、次回も笑顔で、お元気に、同窓生同士、仲良く和やかな会になりますよう、努力致したく思っております。

第五回尚和会 東京支部総会・懇親会

二〇〇六年（平成十八年）十二月三日（日）
尚和会東京支部 支部長 齊藤 良和

五回目の支部総会・懇親会が昨年末開催されました。今回は東海道新幹線品川駅高輪口に近い、以前に高校十一期の東京支部総会・懇親会が催された

「ホテル パシフィック東京」が会場となりました。関西方面から御出席の方々の交通の便と、総会・懇親会の雰囲気作りに配慮しました。

一九六六名の会員にご案内状を送り、六十一名の御出席を得ましたが、年末の何かと御忙しい時期にもかかわらず、尚和会本部からも遠路はるばる母校桜塚高等学校の西郷正人校長先生、尚和会の田中渡会長そして吉田和久副会長の御出席を賜りました。御出席六十一名のなかには高女三期の阿部節子様、高女四期の上田良子様と勝野瑞子様の元氣な御姿がありました。

この機会に高校四期、高校七期、高校十一期などのように、同期の集まりを持たれた会員もおられたように聞いております。尚和会東京支部の繁栄を願うためにも、このような集いを数多く持たれることを願って止みません。

また、今回のご案内の折に、物故会員のお知らせも御遺族からありました。さらに、発送したご案内状の約十六パーセントにあたる三〇八通が様々な理由で返送されてきました。止むを得ないこととはいえ、世代交代が徐々に進んだり、会員の所在不明が増加しております。このため、同期の会員が結束すること、若手の会員が増えることがどうしても必要です。

学校にお願いしたいことは、新卒業生の皆さんに尚和会東京支部の存在をアピールしていただき、首都圏だけでなくどまらず関東（さらに甲信越以北も含む地域）に居住される機会には、支部会員になることを御勧めいただきたいことです。

西郷校長先生からは御準備いただいた詳細な資料を基に、在校生の、学業

はもとよりクラブ活動などの充実した高校生活を御紹介いただきました。

また田中会長と吉田副会長からは尚和会本部の諸活動が報告されましたが、組織として役割分担が確立され、感心いたしました。

懇親会には高校四十期のバイオリニスト幸田さと子さんと、東京在住のピアノリスト藤満健さんをお迎えしました。会場いっぱい広がる、クラシックから美空ひばりメロディーの美しくダイナミックな響きに、すっかり魅了されましたね。後のサイン会も盛況で、用意されたCDもほとんど売り切れしました。

続く豪華賞品（？）の用意されたビンゴゲームも皆様、ワクワク・ドキドキ・で重心に返り楽しみましたね。

全体としてブロックに分かれての記念撮影をし、校歌を斉唱しては予定通り支部総会・懇親会を終了しました。

思えば、今回の支部総会・懇親会が無事開催できましたのも、当支部の初代支部長、井上眞一郎様はじめ「創会（つくろうかい）」の時代から支部発展のため、長きに亘り御尽力を賜った皆様の御陰に他なりません。また今回の支部総会・懇親会の実施にあたりましては、高校四期の平井勝様そして同七期の脇清人様には、特に実務面での御指導を賜りました。あらためてこれら諸先輩に感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

同窓会の存在意義を思い出すと、縁あって同じ学校を卒業した者同士が、その後の人生において、喜びや悲しみを共有し、助け合う機会を作ることができることではないでしょうか。

次回の支部総会・懇親会は来年二〇

〇八年（平成二十年）に開催いたします。支部会員の益々の御健勝、御多幸をお祈り申し上げます。

さて、今年は母校桜塚高校の七十周年にあたり、本部役員の皆様は学校側と綿密に協議しながら、記念事業の準備を着々と進めておられます。東京支部としても誘い合わせて、ぜひ、出席しようではありませんか。

最後になりましたが、今回も二〇〇名を超える支部会員の皆様から、心温まる協力を賜りましたことをご報告いたします。感謝いたしますとともに、



厚くお礼申し上げます。

本部の皆様には、東京支部のため、今後なお一層の御指導、御協力をお願い申し上げます。

◎東京支部連絡先

〒一五七〇〇七四

東京都世田谷区大蔵五の三

齊藤良和

TEL&FAX

〇三三四一五九八八

尚和会会報表紙

この十年

今号で会報は五十五号発行となりました。残念ながら創刊号はなく、尚和会で保存の会報の中で最も古いのは、第九号（昭和三十六年・一九六一年十月五日発行）です。当時のサイズは現在の新聞紙と同サイズで、ページ数は四頁のみでした。その後、卒業生の増加に伴い頁数も増え、平成九年には十六頁になり、七年後の平成十六年には十八頁になりました。さて、今年は七十年記念号ということで、寄稿者が例年より多く大幅増の三十頁です。



1961年



2000年



1999年



1998年



1997年



2003年



2002年



2001年



2006年



2005年



2004年

平成十八年物故者芳名

（平成18年1月1日～12月31日まで）

旧職員	上田 健夫	尼木 康雄	大西 千枝	越水 清三	樋口 嘉章	中村 安蔵	高女一期	蛭子美恵子	高女三期	市谷 孝子	桑山 真子
18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
7	2	3	1	2	7	10	2	7	4	2	7
7	2	3	1	2	7	10	2	7	4	2	7

高女四期	若松美都子	魚谷 緑	高女五期	室谷 玲子	高女六期	渡邊 慧子	高女七期	早瀬 静江	高四期	梶島 靖夫	高五期	山本 健治	高八期	松倉 博	中川 敏雄
18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
1	1	1	5	5	3	3	7	7	2	2	2	5	3	3	5
1	1	1	5	5	3	3	7	7	2	2	2	5	3	3	5
3	3	3	24	24	24	24	16	16	28	28	28	8	8	8	13

高九期	山田 朝広	高十三期	山中 洋志	山瀬千恵子	高十五期	前田ひろの	高十六期	亀井麻里子	高十九期	奥田 敏輝	高九期	山田 朝広	高十三期	山中 洋志	山瀬千恵子	高十五期	前田ひろの	高十六期	亀井麻里子	高十九期	奥田 敏輝
18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
8	12	3	3	3	11	11	1	1	9	14	8	12	3	3	3	11	11	1	1	9	14
23	12	3	3	3	11	11	1	1	9	14	8	12	3	3	3	11	11	1	1	9	14

※お詫言
前号の高女四期藤原秀子（稲池）様は錯誤でしたのでここに謹んでお詫言して、訂正いたします。

編集後記

今号で会報編集責任者として五年目。七十周年記念特集号発行に携わることが出来、感無量でした。晩秋より準備を始め、各期の方々に原稿依頼をしたところ、予想をはるかに超える量が、恩師、会員諸氏から毎日の様に届き、毎夜帰宅後、郵便物、FAXを見るのが楽しみでもありました。改めて母校の良さを再認識した次第です。

土日返上で、お送りいただいた原稿をチェックし、紙面構成上字数行数把握の為に会報専用原稿用紙に転記。ちょっとした作家気分を味わう作業でした。出来る限り、お寄せいただいた原稿、写真は掲載することに決め、会報史上異例の三十頁にもなっていました。来たる五月二十日の記念総会を、多数の参加者で盛会成功裡に終えることを願うのみです。

最後に、記念特集号へご寄稿下さった数多くの会員諸氏、学校関係者に対し厚く御礼申し上げます。

広報委員長 大島 光昭

大阪府立桜塚高校同窓会

尚和会

ホームページ開設のご案内



- ・ホームページ事務局からのお知らせです
- ・過去の尚和会会報を掲載しています
～表紙を見るだけでも懐かしいです
- ・会報代・協力金納入のお問い合わせ
～本年は70周年記念のお願いも掲載中です
- ・同窓会の開催予告や予定はこちらでお知らせします
- ・同窓会の開催報告や写真を掲載しています
～楽しかった様子がうかがえます
- ・恩師の近況はこちらから



- ・同窓生のホームページです
～一度訪ねてみてください
- ・同窓生が開設しているお店等を紹介、
～お得な情報も掲載します
- ・クラブ活動の近況を報告します。
～各種大会の結果もこちらから～
- ・まずは「メルマガ会員登録下さい」
～随時ホームページの更新をお知らせします
- ・尚和会会員名簿掲載事項の変更はこちらから
メールにて受け付けております
- ・近辺他校のホームページ等のリンクを掲載しています

尚和会のホームページのアドレスは <http://www.shs-showakai.com/> です。ぜひお越し下さい！

（桜塚高校で検索 → 大阪府立桜塚高等学校ホームページ → 全日制 → 同窓会（尚和会）からも入って頂けます）

尚和会ホームページ紹介

◆協力金をありがとうございました◆
(金額は納入合計額)

[illegible]

[illegible]

祝・大阪府立桜塚高等学校創立70周年 尚和会記念総会のご案内

平成19年5月20日(日)

ヒルトン大阪(5F・桜の間) JR大阪駅前

Tel 06-6347-7111

◆総会 11:00~11:40(受付10:00~)

◆演奏会 11:50~13:00

◆懇親会 13:10~15:00

(お食事は各自テーブル・椅子のシッティングスタイルでお召し上がりいただけます。)

◆会費 10,000円(2003年以降卒業生5,000円) 記念誌代含む。

出席希望者は同封の払込取扱票にてお申し込み下さい。4月20日(金)メ切

当日参加も受付けます。

■演奏会出演者プロフィール■



前田憲男
(高校5期)

■まえだのりおプロフィール

1934年大阪生まれ。独学でピアノを習得し、高校卒業と共にプロ入りし、1955年上京。1957年から、名門「ウエストライナーズ」に在籍。

そのピアニストとしての実力を高く評価されると共に、アレンジャーとしても頭角を現し、ステージ、テレビなど幅広い分野で活動を始める。1975年からの「11PM」へのレギュラー出演で好評を博し、その後「ミュージック・フェア」などの人気番組の音楽監督を担当。1980年に日本最高のジャズプレイヤーを集めた「ウインドブレイカーズ」を結成、今日に至る。あわせて、羽田健太郎・佐藤允彦とのトリプルピアノや自己のトリオやスペシャルビッグバンド、および全国主要オーケストラのポップスコンサートの客演指揮など、多彩な演奏活動を展開。

1983年レコード大賞「最優秀編曲賞」を受賞、ジャズ界の最高位に値する「南里文雄賞」を受賞。プレイはもとより作・編曲家としても日本を代表する一人であり、その音楽性は高く評価されている。

大阪芸術大学音楽学科教授。



幸田さと子(高校40期)

Koda Satoko

(幸田聡子改め) 2005.1.1より

出身地……大阪府

現住所……兵庫県神戸市

最終学歴……東京芸術大学音楽部器楽科

趣味・特技……プロ野球観戦、料理、

登山

■こうださとこプロフィール

1969年大阪に生まれ、3歳からヴァイオリンを始める。1981年全日本学生コンクール小学校の部で、西日本第1位入賞。1983年同コンクール中学校の部で、西日本第3位入賞。1984年ポーランドのヴィニアウスキー・ジュニア・ヴァイオリン・コンクールで、テレマン特別賞を受賞。1989年日本モーツァルト・コンクール入選。

1993年東京芸術大学を卒業。これまでに、久合田緑、原田幸一郎、宗倫匡、東儀幸、小栗まら絵、フェリックス・アーヨの各氏に師事。1996年東京、大阪、京都でのリサイタルが高く評価されて、青山音楽賞を受賞。1999年3月「川の流れるように/美空ひばり・オン・ヴァイオリン」と「バザンのロマンス/ヴァイオリン名曲集」の2枚を



同時リリースして日本コロムビアよりCDデビュー、特に「美空ひばり・オン・ヴァイオリン」は大きな話題を呼び大ヒット、同年日本レコード大賞企画賞を受賞した。クラシックの作品だけでなく、「21世紀に残したい歌」や「聞かせてよ愛の言葉を〜シャンソン・オン・ヴァイオリン」など、意欲的なプログラムに取り組んでいる。

2001年2月「大阪市咲くやこの花賞」受賞。2002年3月「愛のヴァイオリン」を発売。2003年1月「日本の抒情」を発売。2003年12月「幸田聡子plays五木ひろし」をファイブスエンターテインメントより発売、これまでにアルバム12タイトルを発表。現在、神戸市室内合奏団ヴァイオリン奏者としても活躍中。2005年6月クラウンレコードに移籍「スイートメモリーズ satoko violin」を発売。



ヒルトン大阪 3階 日本料理「源氏」 **Genji**



和とモダンの調和 鉄板焼ダイニング

「源氏」の鉄板焼コーナーでは、“焼く”だけにとどまらず“蒸す”“揚げる”などの調理法を取り入れたシェフ自慢のバラエティ豊かなお料理を熟練の技と共に楽しみいただきます。ご家族やご友人とのお集まりにご利用ください。

ランチ 11:30am~2:00pm ラストオーダー

ディナー 5:30pm(土・日・祝日 5:00pm)~9:00pm ラストオーダー

ご予約・お問合せは、
「レストラン予約」

Tel.(06)6347-0310

〒530-0001 大阪市北区梅田1-8-8

Tel.06-6347-7111(代表)

TAKE ME TO THE HILTON

For the best rates, visit hilton.co.jp